



芽 室 町

Memuro Town

芽室町公共サイン整備計画

Memuro Town Public Sign



平成27年12月

目 次

1 はじめに	1
1－1 策定の背景	1
1－2 計画の位置づけ	1
1－3 公共サインの役割	2
1－4 現状と課題	3
1－5 サインの種類と機能	4
1－6 誘導サインの5つの機能	4
1－7 サインシステムの配置モデル	5
1－8 整備方針	5
1－9 整備基準	6
2 公共サイン整備計画の適用範囲	7
3 サイン共通の設置基準	8
4 誘導サインの設置基準	23
5 案内サインの設置基準	27
6 記名サインの設置基準	33
7 説明サインの設置基準	37
8 規制サインの設置基準	40
9 配置計画	44
9－1 サインの種類と設置場所と表示内容	44
9－2 サインの配置図（案）	45
9－3 利用動線計画（案）	46

10 デザイン基準	48
10-1 誘導サイン	48
10-2 案内サイン	53
10-3 記名サイン	54
10-4 説明サイン	55
10-5 規制サイン	56
11 参考資料	
11-1 ピクトグラムの使用例	参考1
11-2 言語表記の使用例	参考2
11-3 道路の案内標識の英語による表示に関する告示	参考3
11-4 説明サイン表示面参考図	参考4
11-5 参考図	参考5
12 資料	資料

1 はじめに

1-1 策定の背景

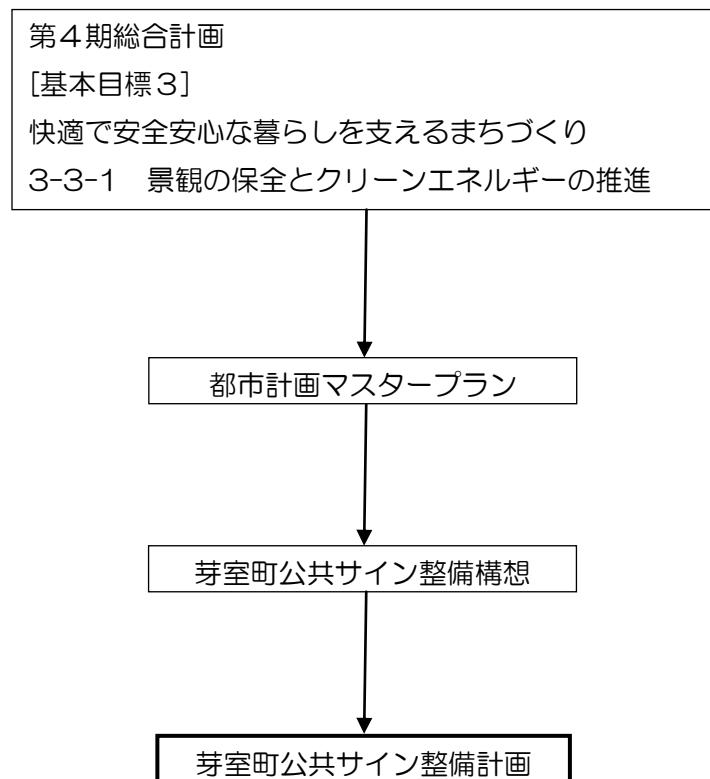
様々なサインは、そこで生活している人々や、そこを訪れる人たちに、まちをわかりやすく案内・誘導するものです。

また、サインは、まちなみや良好な都市景観形成の観点からも、そのあり方についての関心が高まりつつあります。

さらに、車社会の発達や人々の活動の多様化とともに、サインの役割は今後ますます大きくなります。計画的で体系的なサイン整備は、個性的で魅力ある分かりやすいまちづくりのために重要な施設となっています。

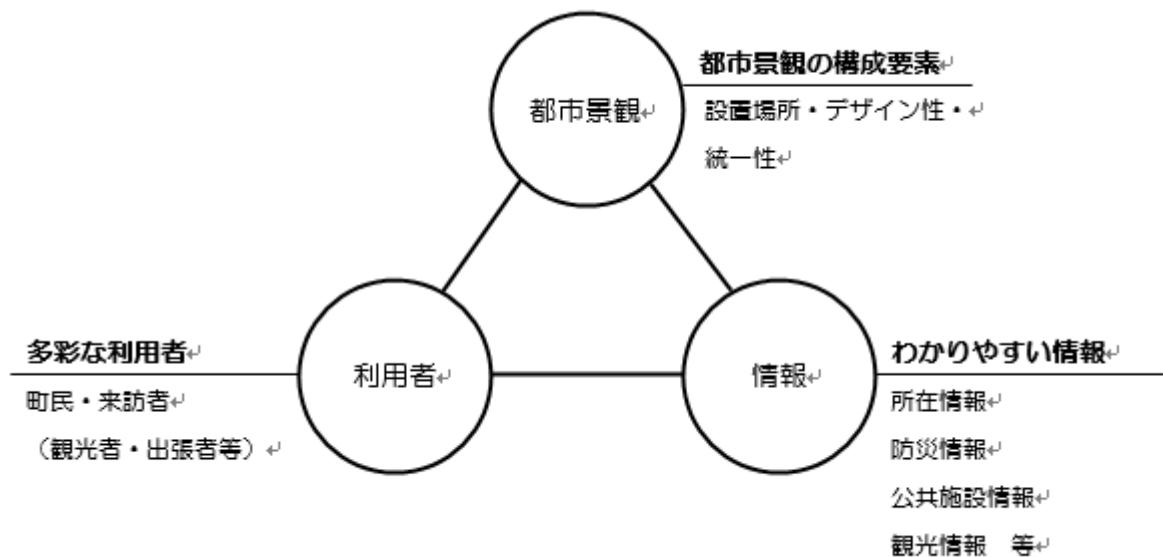
1-2 計画の位置づけ

この計画は第4期芽室町総合計画に基づき、推進していきます。



1-3 公共サインの役割

公共サインの具体的な役割は、まちをわかりやすく案内し、なおかつまちの都市景観を形成し、人々がスムーズに快適な活動ができるような「まちづくり」を支援することです。



1-4 現状と課題

(1) デザイン・統一性

各ポイントに公共サインが設置されていますが、デザインなどの統一がなく、都市景観構成上の役割を発揮していない状況にあります。

また、統一性に欠けることから、サイン同士の関連性がなく、誘導がわかりづらくなっています。

(2) 情報量の不足

所在情報は不規則に設置され、設置されている地域とされていない地域があります。

また、サインの老朽化が進んでおり、災害時の備えとしても十分ではない状況です。

(3) 現状

市街地には、700を超える公共サインがあり、そのうち約35%のサインが老朽化や破損等の問題が生じています。

(平成27年5月実施公共サインに関する調査より)

老朽化



日焼け



破損



1-5 サインの種類と機能

芽室町公共サイン整備構想(以下整備構想)に基づき、サインの種類及び機能を以下の表に示します。

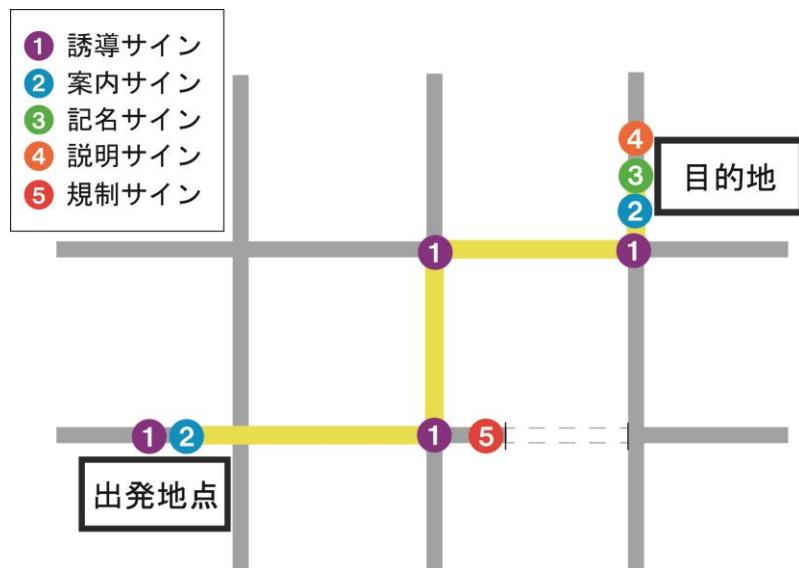
種類	設置場所
1 誘導サイン	対象者を目的地まで誘導する動線上に設置
2 案内サイン	来町者や施設利用者に付近の全体状況を示したい場所に設置
3 記名サイン	施設等の名称を示す場合に施設敷地内に設置
4 説明サイン	対象物の内容や歴史、操作方法等を伝達する場合に対象物の付近に設置
5 規制サイン	安全や秩序を保つため、歩行者の行動を促進したり、警告・禁止・規制をする場所に設置
6 その他サイン	必要に応じて設置

1-6 誘導サインの5つの情報

整備構想では、サインの種類において最も設置箇所数が多いとされる誘導サインについて、以下の5つの情報に分類しています。

1 所在情報	内容	標示板設置場所の住所(条丁目)
	場所	本町における地域幹線道路・地域準幹線道路・及び〇〇本通・丁目通において設置
2 防災情報	内容	避難場所・施設への案内
	場所	災害時、瞬時に避難場所がわかるように設置
3 公共施設案内情報	内容	公共施設・公共駐車場への案内
	場所	町内の主要な公共施設を対象に、道路の分岐点または、迷いやすい分岐点において施設名とその方向を示すように設置
4 観光情報	内容	観光施設への案内
	場所	町内の主要な観光施設を対象に、道路の分岐点または、迷いやすい分岐点において施設名とその方向を示すように設置
5 その他情報	場所	必要に応じて設置

1-7 サインシステム配置モデル



サインシステムの範囲が広域にわたる場合は、誘導サインはできるだけ繰り返し配置します。

1-8 整備方針

町内において、公共サインの果たす役割は非常に幅広く、都市活動における様々な側面で重要な役割を担っていることから、次の3点の整備方針に基づき、公共サインを設置するものとします。

(1) まちを「わかりやすく」

サインの果たす最も基本的な役割であり、利用者と目的地の位置関係といった案内、誘導に関する情報を適切でわかりやすく伝達していきます。

設置箇所については、動線などを考慮し、決定します。

(2) まちを「美しく」

工作物という観点でサインを捉えると、それ自体が景観を構成する要素であり、その連続はまちなみを形成する要素になります。

芽室らしさを表現し、美しいまちなみを整える工作物という側面を意識します。

(3) まちの「安全性」の向上

災害に強いまちづくりを目指す中で、災害時を想定して、公共サインを設置します。

1-9 整備基準

(1) 計画的な整備の実施

整備は原則、老朽化や破損等の原因でサインとしての機能を果たせていない場合に行います。

(2) 統一したデザイン

デザインは原則として、農業の町を連想させる色（緑、茶色）を基調とします。ただし、サインの機能や設置場所によってはこの限りではありません。

例



緑	塗装色	…	日塗工 F49-20H
	インクジェット印刷色	…	RGB 0,49,33

茶色	塗装色	…	日塗工 B15-30B
	インクジェット印刷色	…	RGB 72,56,51

※【日塗工】

一般社団法人日本塗装工業会発行の塗料用標準色です。

2 公共サイン整備計画の適用範囲

本計画は、交通旅客施設、道路施設、公園施設として設置・管理される6つのサイン（誘導・案内・記名・説明・規制・その他）を適用範囲とし、公共サインの利用対象者は「町内の歩行者及び走行する車両」とします。

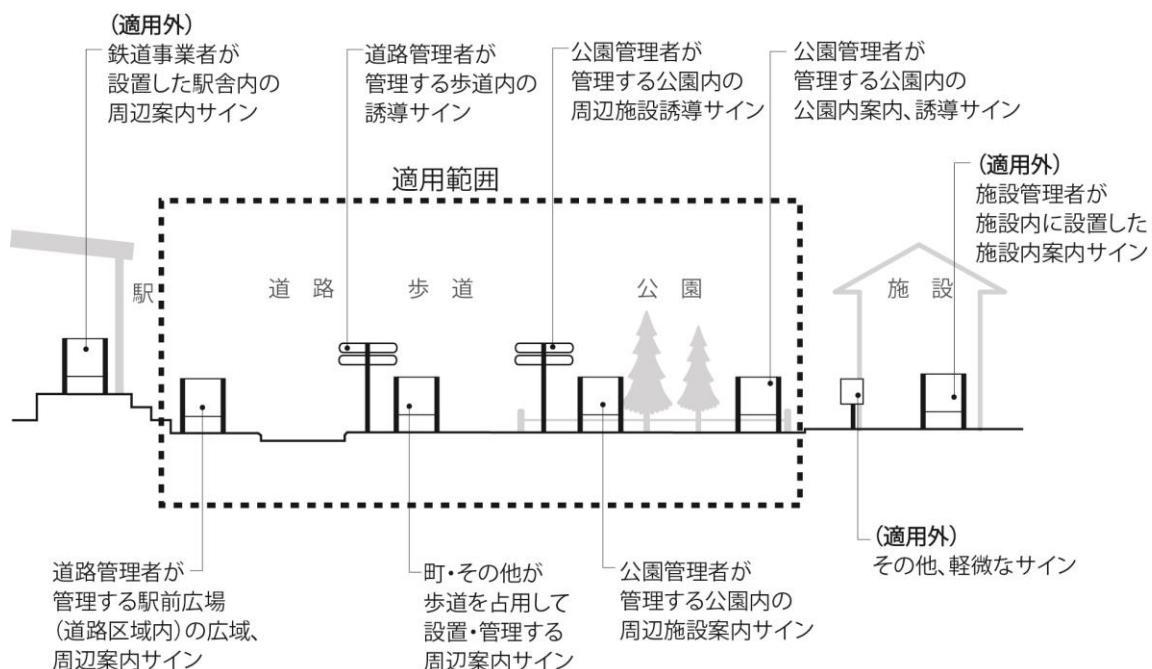
適用範囲の中には様々な場所や施設（車道・歩道及び駅など）があり、設置場所によっては独自の整備基準やルールがあります。

法令等で定めのある道路標識や駅構内のサインなど一つのまとめをもって独自のサインシステムを用いた方が効果的と思われる一部のサイン類については、本計画の適用外とします。

適用外となるサイン

- ① 公共交通事業者が、旅客施設内に設置するサイン
- ② 道路管理者が、道路標識設置基準に基づいて設置する標識

適用範囲図



3 サイン共通の設置基準

(1) サインの配置位置

- ① 歩行者の目につきやすく、かつ通行の邪魔にならない場所を選定します。
- ② 車いす使用者や介助者及び歩行者の移動空間が十分に確保できる位置に設置します。
- ③ サイン施設の足元やその周辺に障害物等がないように配慮します。
- ④ 植栽などで隠れることのないよう、良好な視認性が確保できる場所に設置します。

(2) 設置タイプ

サインにはその機能にふさわしい設置タイプがあり、遠くから見る誘導サインは、矢羽型や路側型、近くで見る案内サイン等は路側型や壁掛け型など、機能や設置する地区の状況に配慮し選定します。

① 矢羽型

遠方からの視認性や誘目性の高い形状であるため、幅員の広い歩道や交差点等に設置します。

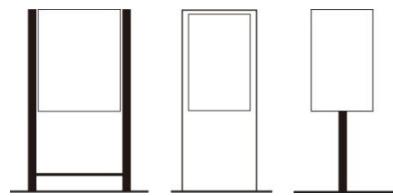
誘導サインは原則として同型とします。



② 路側型

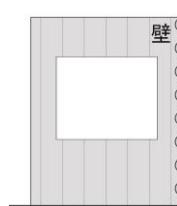
歩道幅員の狭い箇所や情報伝達量が多い場合などは近接して情報を得ることから、路側型や独立版型のサインを設置します。

案内サイン・説明サイン及び記名サインなどは原則として同タイプとします。



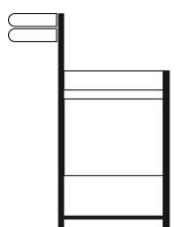
③ 壁掛け型

地区状況により独立版型の設置が困難な場合には、壁掛け型を用います。



④ 共架型

設置箇所が狭い場合や複合的な表示が有効(景観整理)と思われる場合は、誘導サインや案内サイン等の集約を検討する必要があります。



(3) サイン種別ごとの設置タイプ

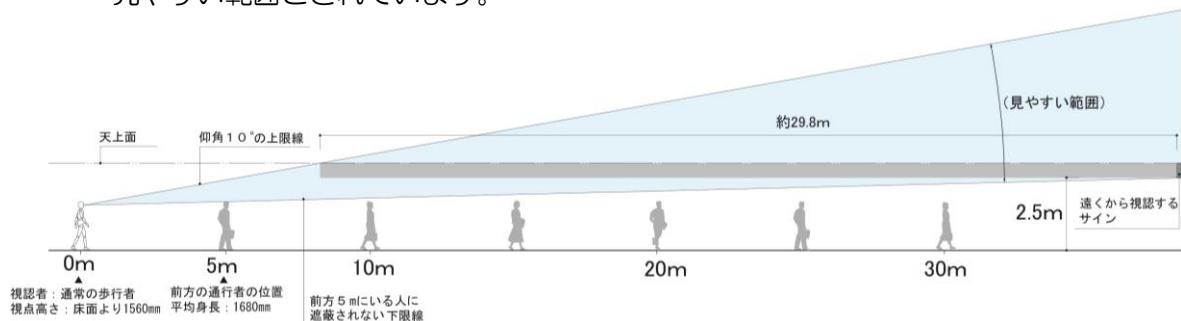
種類	タイプ	利用対象者
1 誘導サイン	矢羽型(ポール型)、路側型	歩行者・運転者
2 案内サイン	路側型、壁掛け型、共架型	歩行者・運転者
3 記名サイン	路側型、壁掛け型、共架型	歩行者・運転者
4 説明サイン	路側型、壁掛け型、共架型	歩行者
5 規制サイン	路側型、ポール型	歩行者・運転者

(4) 掲出高さ

- ① 遠くから認識する必要のあるサインはサインの下端を 2.5m 以上に設定します。
- ② 近くから認識する必要のあるサインはサインの上端を 2.0m 程度、地図標識の中印の高さ 1.25m 程度に設定します。

(5) 通常の歩行者が移動しながら視認できる距離

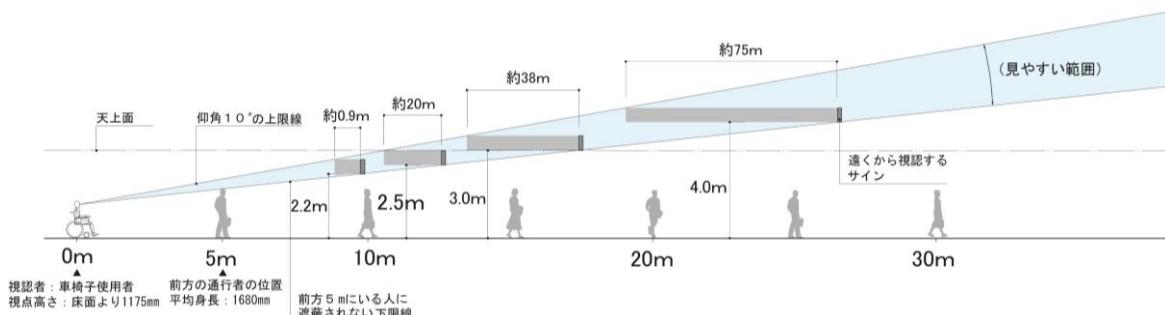
通常の歩行者が移動しながら遠くから視認できる距離として、高さ 2.5m 以上の範囲は見やすい範囲とされています。



『出典：公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドライン 国土交通省』

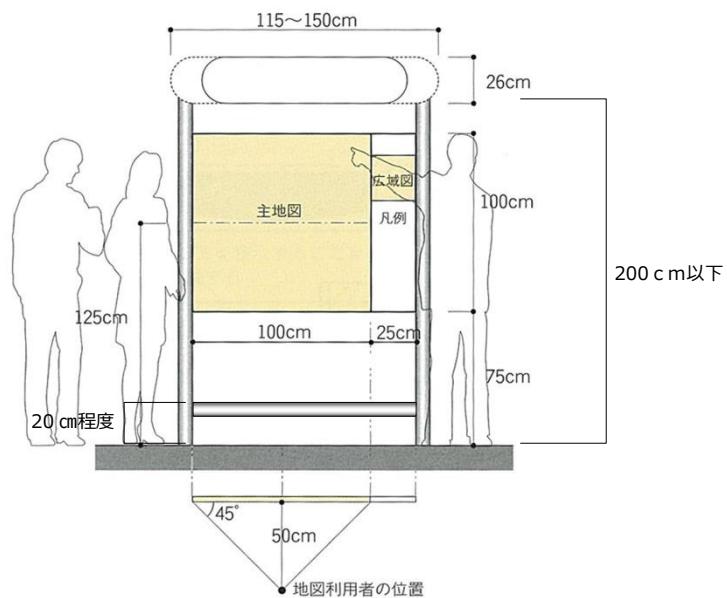
(6) 車椅子使用者が移動しながら視認できる距離

- ① 車椅子使用者の視点は低いので、見やすい範囲は通常の歩行者に比べてかなり狭くなります。
従って一定の高さにあるサインを移動しながら視認できる距離は、極端に小さくなります。
- ② 遠くから視認するサインの掲出高さは、視距離に応じた文字の大きさを選択したうえで視認想定位置から仰角 10° より下の範囲内で、極力高くするのが適当です。



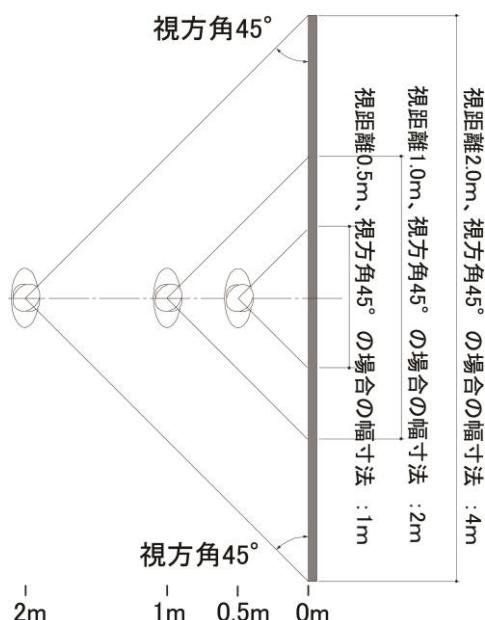
『出典：公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドライン 国土交通省』

(7) 近くから視認するサインのサイズ



- ① 車椅子使用者からも無理なく読めるように地図標識の中印の高さ 125cm程度とします。
- ② 車椅子使用者及び高齢者等が見やすいよう、掲示板から 1m程度離れてみる場合、掲示面の上端の高さを 200cm程度とします。
- ③ 大判の掲示板を設置する場合でも、見る位置を 200cm程度とした場合、幅を 400cm 以内に納めます。

○水平方向の視方角の限界



『出典：地図をもちいた道路案内標識ガイドブック 大成出版』
 『出典：ユニバーサルデザインによる みんなのための公園づくり 社団法人日本公園緑地協会』

(8) 書体

- ① サインに表示する基本書体は、視認性及び可読性に優れた文字を使用し、高齢者、障がい者等が見やすくわかりやすいものとします。
- ② 和文書体と英数字書体は、一体で併記するため、組合せがよい書体を使用します。

(9) 和文書体

- ① 和文書体については、文字の線幅がほぼ一定で可読性に優れているゴシック系の書体とし、より可読性に優れた角ゴシック書体を使用します。
- ② 標準書体（正体 100%）で表示スペースが足りない場合は長体を使用します。

角ゴシック系書体例

出口案内

(新ゴ B)

出口案内

(新ゴ M)

出口案内

(新ゴ R)

出口案内

(タイプバンクB)

出口案内

(タイプバンクDB)

出口案内

(ナウGB)

(10) 英文・数字書体

- ① 英文・数字書体については、ゴシック系の和文書体との調和を考慮し、可読性に優れているサンセリフ系書体を使用します。なお、サンセリフ系とは、和文のゴシック体に相当する英文書体です。
- ② レイアウトは常に正規の文字間隔によるものとし、間隔を調整しないこととします。ただし、標準書体（正体 100%）で表示スペースが足りない場合は、長体を使用します。

サンセリフ系書体例

Express

(ヘルベチカ・ポールド)

Express

(ヘルベチカ・ミディアム)

Express

(ヘルベチカ・レギュラー)

Express

(ユニバース65・ポールド)

Express

(アクチデンツ グロテスク・ミディアム)

Express

(アクチデンツ グロテスク・レギュラー)

Express

(フルティガーポールド)

Express

(ローティスサンセリフ・エクストラポールド)

Express

(ローティスサンセリフ・ポールド)

『出典：公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドライン 国土交通省』

(11) 日本語の表記

- ① 表示内容を簡潔なものとするために、施設名称を必要に応じて簡略化することとします。
- ② 現在は知名度や認知度の高い施設ほど簡略化する傾向にあります。
- ③ 数字の表記や紀年表記などは混乱を避けるために一貫した表記とします。

施設名の表記例：案内板などの表示面の煩雑化を防ぐため、明確に理解される範囲内において部分的に省略をします。また、正式名称よりも明らかに理解されやすい通称や愛称名がある場合はそれを用います。

- ・芽室町中央公民館 → 中央公民館
- ・郷の食産ひろば めむろ みのり～む → みのり～む
- ・JR
- ・NTT

(12) 外国語の表記

- ① サインの言語表記は、日本語、英語の2言語を基本とします。
- ② 英語の表記は、原則的に英語とローマ字の組合せとし、ローマ字は一般的なヘボン式を基本に長音記号等を組み合わせ、正確に情報を伝える配慮をします。
- ③ 英語以外の外国語は、近年増加している中国の利用者を考慮し、必要に応じて表記を行います。また、中国語書体は日本語同様に「角ゴシック体」に準じた書体を選択します。

○固有名詞の表記例

原則として、固有名詞部分をローマ字で、一般的な名詞部分を英訳により表記します。特に人名を表記する場合、綴りについても関係者等への確認を行います。

日本語	英語（ヘボン式）	英語（非ヘボン式）
芽室町役場	Memuro cho-yakuba	Memuro Town Office
大野（人名）	ONO	OHNO、OUNO、OONO
アリス（人名）	Arisu	Alice

○公共交通機関の表記例

バス停留所等の名称は、普通名詞の部分も含めてローマ字表記します。

- ・芽室神社前
Memuro Jinja-mae
- ※参考資料『道路の案内標識の英語による表示に関する告示』参照

(13) 数字表記の表記

原則として算用数字を用います。ただし、固有名詞として用いる場合は除きます。

- ・3月31日

(14) ふりがな表記

地名や歴史上の人名など、読みにくい漢字にはふりがなを付記する等、配慮を行います。

(15) 色彩

- ① 高齢者に多い白内障に配慮して、青と黒、黄と白の色彩組み合わせは用いません。
- ② サインの図色と地色の明度、色相又は彩度の差（輝度コントラスト）を大きくすること等により容易に識別できるものとします。
- ③ 色覚異常の利用者に配慮し、見分けやすい色の組み合わせを用いて、表示要素毎の色の明度、色相又は彩度の差（輝度コントラスト）を確保した表示とします。

色の見え方と組み合わせ

	一般色覚	1型色覚	2型色覚
青			
紫			
水色			
ピンク			
明るい灰色			
淡い水色			
灰色			
淡い緑			
深緑			
茶色			
濃い赤			
焦げ茶			
赤			
緑			
黄色			
黄緑			
明るい茶色			
オレンジ			
明るい緑			

○留意すべき色の選択例

- ・ 濃い赤を用いず朱色やオレンジに近い赤を用います。

赤を用いる場合は他の色との境目に細い白線を入れると表示が目立ちやすくなります。

○見分けにくい色の組み合わせ例

- ・ 「赤と黒」、「赤と緑」、「黄緑と黄色」、「紫と青」、「赤と茶色」、「水色とピンク」の見分けが困難です。

- ・ 輝度コントラストには敏感であり、同系色の明暗の識別に支障は少ない。

その他 色のデザインについて

○色面の境界

- ・ 色と色の境界には白または黒の細線で縁取りをすると、違う色で塗られていることが視認しやすくなります。

○色面の面積

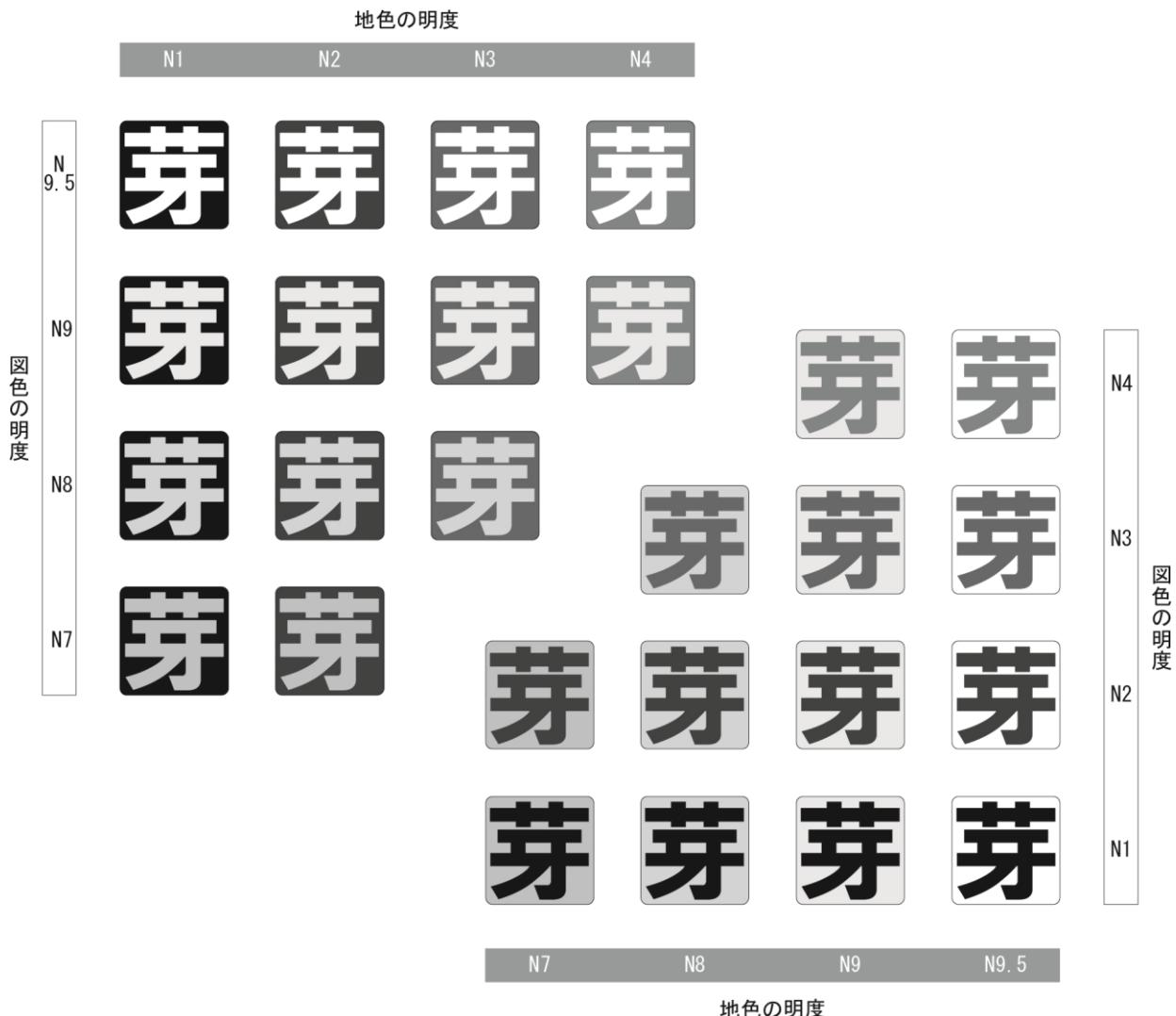
- ・ 面積が広いほど色の違いが分かりやすくなるので、色付きの線は極力太くし、文字は極力太い書体を用いると視認しやすくなります。

※見分けにくい色の組み合わせ

『出典：公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドライン 国土交通省』

(16) 図形と地色の明度対比

サインの図色と地色に下図に示す程度の明度対比を確保することにより、容易に識別しやすくなります。



『出典：公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドライン 国土交通省』

(17) ピクトグラム

ピクトグラムは、JIS Z8210 に示された図記号の他、一般案内用図記号検討委員会が策定した標準案内用図記号を活用します。

① 色・形状について

(ア) 色並びの使い方



安全 - 防火・危険



安全 - 誘導



禁止



注意



指示



洪水・堤防案内

安
全

安全 - 防火・危険

安全 - 誘導

禁止

注意

指示

洪水・堤防案内

色 マンセル値 赤 7.5R4/15 青 2.5PB3.5/10 黄 2.5Y8/14 緑 10G4/10 白 N9.5 黒 N1
JIS Z 8210 案内用図記号 安全、禁止、注意及び指示図記号に用いる基本形状、色並びに使い方

『出典：公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドライン 国土交通省』

(イ) ピクトグラムとアイキャッチャーマーク※1

ピクトグラムは、地図標識を統一化するために、標識令、標準案内用図記号のデザインに準ずることを基本とし、地図標識上で目立つよう色合いを反転（黒字もしくは青字に白図）させ、視認性・判読性を高めたものとすることが望ましい。また、認知度の低いピクトグラムの施設や、ピクトグラムが設定されていない施設については、アイキャッチャーマークとしてドット（■）を使用します。

※1 地図標識利用者の目を引きつけるための目印

(ウ) ピクトグラムの種類

ピクトグラムは、種類が増えることにより地図標識がわかりにくくなります。また、ピクトグラム・文字の大きさ、行間隔等を縮小するとピクトグラムや文字がわかりにくくなるため、認知度の高いピクトグラムのみを表示し、ピクトグラムの種類を減らします。

(エ) バリアフリー情報のピクトグラム

公衆便所や身障者用設備といったバリアフリー情報に関するピクトグラムについては、青地に白図として視認性・判読性を高めたものとします。

(オ) 地域内での独自に工夫したピクトグラム

観光案内等の目的で、観光施設・史跡等について地域独自のピクトグラムを作成することも可能です。これらについては、観光部局等の調整を図った上で表示します。この場合も上記項目の考え方を踏まえた上で決定します。

『出典：地図を用いた道路案内標識ガイドブック 大成出版』

② ピクトグラムの表記

推奨度について

- A : 安全性および緊急性に関わるもの、多数のユーザーにとって重要なものおよび移動制約者へのサービスに関わるものです。
これらについては、図形を変重しないで用いることが強く要請されている。
- B : 数多の利用者が通常の行動や操作をする上で、図記号の概念および図形を統一することによって利便性が高まると期待されるものです。これらについては、図形を変重しないで用いることが推奨されています。
- C : 数多の利用者が通常の行動や操作をする上で、図記号の概念を統一することが必要なものです。これらについては、基本的な概念を変えない範囲で適宜図形を変重して用いることができるものです。

□参考例

■ 公共・一般施設 Public Facilities

推奨度A



案内所
Question & answer

情報コーナー
Information

病院
Hospital

救護所
First aid

警察
Police

お手洗
Toilets



男子
Men

女子
Women

身障者用設備
Accessible facility

車椅子スロープ
Accessible slope

飲料水
Drinking water

(備考)
火災予防条例で下記の図記号の使用が規定
されている場所には、下記の図記号を使用
する必要がある。



喫煙所
Smoking area



※

推奨度B



チェックイン / 受付
Check-in / Reception

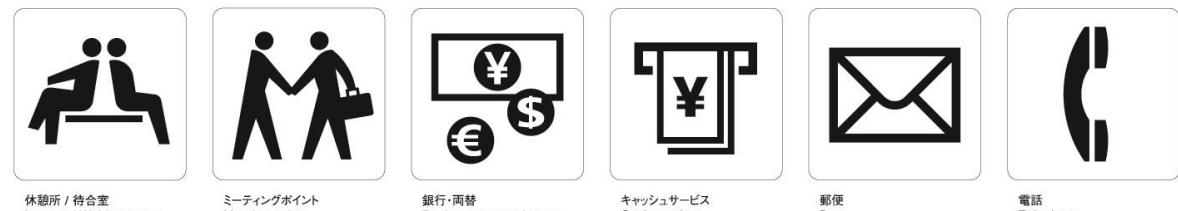
忘れ物取扱所
Lost and found

ホテル / 宿泊施設
Hotel / Accommodation

きっぷうりば / 精算所
Tickets / Fare adjustment

手荷物一時預かり所
Baggage storage

コインロッカー
Coin lockers



休憩所 / 待合室
Lounge / Waiting room

ミーティングポイント
Meeting point

銀行・両替
Bank, money exchange

キャッシュサービス
Cash service

郵便
Post

電話
Telephone

■ 公共・一般施設 Public Facilities

推奨度B



■ 交通施設 Transport Facilities

推奨度B



■ 商業施設 Commercial Facilities

推奨度B



レストラン
Restaurant



喫茶・軽食
Coffee shop



バー
Bar



ガソリンスタンド
Gasoline station



会計
Cashier

【注2】(通貨記号差し替え 可)

推奨度C



店舗 / 売店
Shop



新聞・雑誌
Newspapers, magazines



薬局
Pharmacy



理容 / 美容
Barber / Beauty salon



手荷物託配
Baggage delivery service

■ 観光・文化・スポーツ施設 Tourism, Culture, Sport Facilities

推奨度B



展望地 / 景勝地
View point



陸上競技場
Athletic stadium



サッカー競技場
Football stadium



野球場
Baseball stadium



テニスコート
Tennis court



海水浴場 / プール
Swimming place



スキー場
Ski ground



キャンプ場
Camp site



温泉
Hot spring

推奨度C



公園
Park



博物館 / 美術館
Museum



歴史的建造物
Historical monument

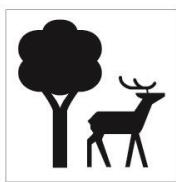


応用例 1
variant 1



応用例 2
variant 2

参考



自然保護
Nature reserve



スポーツ活動
Sporting activities



スカッシュコート
Squash court



Tバーリフト
T bar lift



腰掛け式リフト
Chairlift

■ 安全 Safety

推奨度A



消火器
Fire extinguisher



非常電話
Emergency telephone



非常ボタン
Emergency call button



非常口
Emergency exit



広域避難場所
Safety evacuation area

※

■ 禁止 Prohibition

推奨度A



一般禁止
General prohibition



禁煙
No smoking

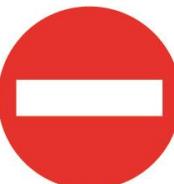
(備考)
火災予防条例で下記の図記号の使用が規定
されている場所には、下記の図記号を使用
する必要がある。



※



火気厳禁
No open flame



進入禁止
No entry



駐車禁止
No parking



自転車乗り入れ禁止
No bicycles



立入禁止
No admittance



走るな / かけ込み禁止
Do not rush



さわるな
Do not touch



捨てるな
Do not throw rubbish



飲めない
Not drinking water



携帯電話使用禁止
Do not use mobile phones



電子機器使用禁止
Do not use electronic devices



撮影禁止
Do not take photographs



フラッシュ撮影禁止
Do not take flash photographs

推奨度B



ベビーカー使用禁止
Do not use prams



遊泳禁止
No swimming



キャンプ禁止
No camping

推奨度C



飲食禁止
Do not eat or drink here



ペット持ち込み禁止
No uncaged animals

■ 注意 Warning

推奨度A

【注1】(文字による補助表示が必要)

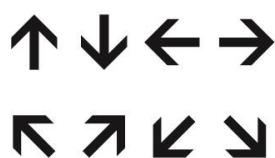


■ 指示 Mandatory

推奨度A



推奨度B



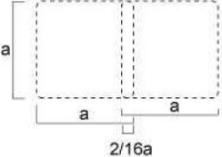
矢印
Directional arrow

参考



③ ピクトグラムの組み合わせ

施設の複合的な機能を表す際には、ピクトグラムを組み合わせることができます。

組み合わせの原則	組み合わせ例	
	 身障者対応のお手洗	
	 身障者・乳幼児用施設を備えたお手洗	 身障者・乳幼児・オストメイトに 対応したお手洗

『出典：自然公園等施設技術指針 第3部 施設別技術指針 環境省』

○矢印と文字との組み合わせ例

ピクトグラム+文字表記



記名サイン

ピクトグラム+文字+矢印表記



誘導サイン



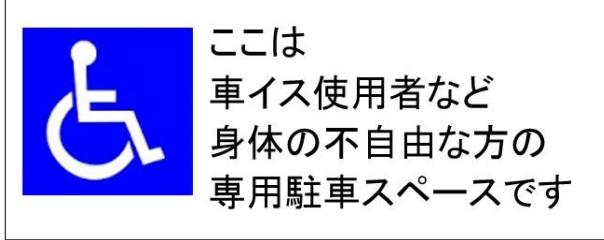
記名サイン



誘導サイン

『出典：道路の移動等円滑化整備ガイドライン 財団法人国土技術研究センター』

ピクトグラム+説明文



説明サイン

(18) 管理者表示

表示された情報について、利用者に対し責任の所在を明らかにするため、管理者の表示を行います。

Aタイプ【芽室町の町章・文字の表示】



Bタイプ【芽室町の町章・文字の表示】



Cタイプ【芽室町の町章のみの表示】

表示スペースが狭い場合



町章色 仕様

- 芽室グリーン
TOY094-CF0890
D I C 9版-389
4色分解-C100%+Y100%+M40%



4 誘導サインの設置基準

(1) 配置位置

- ① 掲出にあたっては、照明の映り込みがないように配慮します。また、外光、照明の配置により見にくくならないよう配慮します。
- ② 動線と対面する向きのサイン2台を間近に掲出する場合、手前のサインで奥のサインを遮らないように設置します。

(2) 表示面の向き

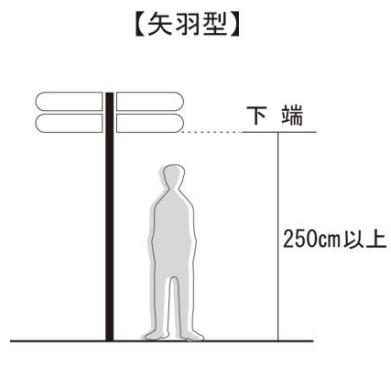
サインの表示面は動線と対面する向きに掲出します。

『出典：公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドライン 国土交通省』

(3) 掲出高さ

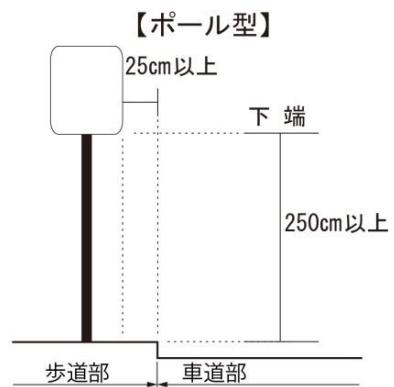
- ① 歩道空間上部に張り出さなければいけない場合は、サインの表示面下端高さは、原則として路面から 2.5m以上とし、上端高さは 4.0m未満とします。
- ② 歩道上に設置する場合は、サインの表示面下端高さは、原則として路面から 2.5m以上とし、サインの端を車道から最低 25 cm以上離します。ただし、歩道空間上部に張り出さない場合においては、設置する通路等の特性に応じ、歩行者への安全性を確保した上で表示面下端の高さを設定します。

○歩道空間上部に張り出さなければ
いけない場合



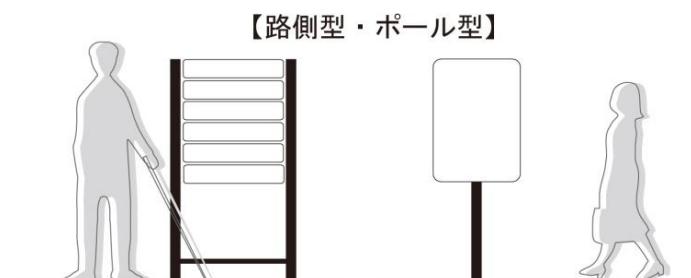
歩道の建築限界 250 cm以上
『道路構造令 国土交通省』

○歩道上に設置する場合



歩道路面から 250 cm以上・車道境界から 25 cm以上
『道路事業設計要領 北海道建設部土木局道路課』

○歩道に対して平行に設置する場合



(4) 表示内容

① 文字の大きさの選択の目安

- (ア) 文字の大きさは、視力の低下した高齢者等に配慮して視距離に応じた大きさを選択します。
- (イ) 掲示位置については、ロービジョン者等に配慮して、可能な限り、接近できる位置、視点の高さに配置します。

※【ロービジョン】

視覚障がい者で全盲ではない弱視者（見えにくい人）です。

■表1 自動車利用者の対象の文字高

	設計速度		
	30 km/h 以下	40,50,60 km/h	70 km/h 以上
片側2車線以上	15 cm (20 cm)	30 cm (40 cm)	30 cm (45 cm)
片側1車線	10 cm (15 cm)	20 cm (30 cm)	—

() は交通量が多い場合

※表1は自動車ドライバーを対象としたサインに適用します。

・ローマ字の大きさ 大文字・・・漢字の大きさの1/2 小文字・・・大文字の3/4程度

『安全標識の文字の大きさ：道路技術基準・道路標識 国土交通省』

■表2 視距離別文字高の目安

視距離	和文文字高	英文文字高
30mの場合	120mm 以上	90mm 以上
20mの場合	80mm 以上	60mm 以上
10mの場合	40mm 以上	30mm 以上
4~5mの場合	20mm 以上	15mm 以上
1~2mの場合	9mm 以上	7mm 以上

※表2は歩行者を対象としたサインに適用します。

文字高は、日本字では指定書体の「木」の高さ、アルファベットでは指定書体の「E」の高さです。



『出典：公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドライン 国土交通省』

② タイトル等文字の間隔

文字の間隔は、和文文字高を h とした時に下記の図の間隔で配置します。



『'95 道路標識ハンドブック 社団法人全国道路標識・表示業協会』

(ア) 自動車利用者対象の文字作成例 【正体 100%】

(縮尺: 1/10 単位: mm)

- [自動車利用者 片側1車線以上 交通量の多い道路、30 km/h 以下の場合]
 - ・和文字 150mm 以上



- [自動車利用者 片側2車線以上 交通量の多い道路、60 km/h 以下の場合]
 - ・和文字 400mm 以上



(イ) 歩行者対象の文字作成例 【正体 100%】

(縮尺: 1/5 単位: mm)

- [歩行者 視距離 ~30mの場合] • 和文字 120mm 以上 英文字 90mm 以上

120 24
120
24
90

芽室町
Memuro Town

- [歩行者 視距離 ~20mの場合] • 和文字 80mm 以上 英文字 60mm 以上

80 16
80
16
60

芽室町
Memuro Town

- [歩行者 視距離 ~10mの場合] • 和文字 40mm 以上 英文字 30mm 以上

40 8
40
8
30 8 40

芽室町
Memuro Town

- [歩行者 視距離 ~4・5mの場合]
• 和文字 20mm 以上 英文字 15mm 以上

20 4
4
15 20

芽室町
Memuro Town

- [歩行者 視距離 ~1・2mの場合]
• 和文字 9mm 以上 英文字 7mm 以上

9 1.8
1.8
7 9

芽室町
Memuro Town

5 案内サインの設置基準

(1) 配置位置

- ① 空間上の制約から動線と平行な向きに掲出する場合は、延長方向から視認できる箇所にその位置に案内サインがあることを示すサインを掲出することが望ましいです。
- ② 案内サイン掲示板に下部のスペースがある場合、視覚障害者の利用にも配慮し、白杖が当たる地面から 20 cm 程度の位置にバー等を設けることが望ましいです。

※【白杖（はくじょう）】

視覚障がい者が歩行の際に前方の路面を触察して使用する白い杖です。

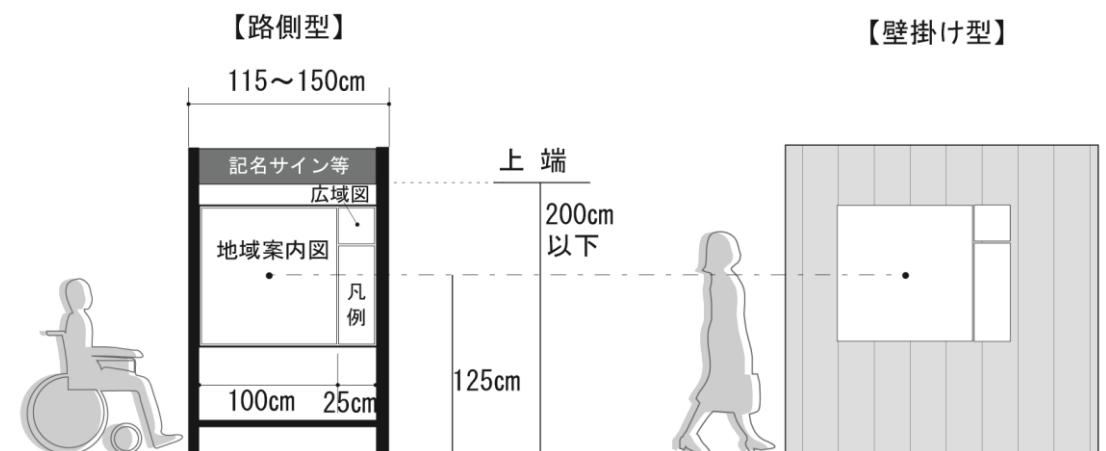
(2) 表示面の向き

サインの表示面は、利用者の円滑な移動を妨げないよう配慮し、また、車椅子利用者が近づけるように十分なスペースをとり、動線と対面する向きに掲出することが望ましいです。

『出典：公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドライン 国土交通省』
『出典：ユニバーサルデザインによる みんなのための公園づくり 社団法人日本公園緑地協会』

(3) 掲出高さ

- ① 掲示高さは、歩行者および車いす使用者が共通して見やすい高さとします。
- ② 歩行者が近づいて見ることのできるように地図標識付近に障害物等がないように配慮します。
- ③ 車いすの使用者からも無理なく読めるように地図標識の中印の高さ 125 cm 程度とします。



※地図利用者の距離を 50 cm とした場合の案内図幅

『出典：地図を用いた道路案内標識ガイドブック 大成出版社』
『出典：ユニバーサルデザインによる みんなのための公園づくり 社団法人日本公園緑地協会』

(4) 表示内容

① 文字の大きさの選択の目安

- (ア) 地図標識の文字の大きさは、視距離 50cm を想定し、視距離 1~2m の文字高の約 1/2 の大きさ（和文文字高：5mm 以上、英文文字高：4mm 以上）とします。
- (イ) 表示内容の見やすさに配慮し、表示施設により文字サイズを変えて表示します。
- (ウ) 遠くから視認するタイトル等の文字サイズは誘導サインと同様のものを準用します。

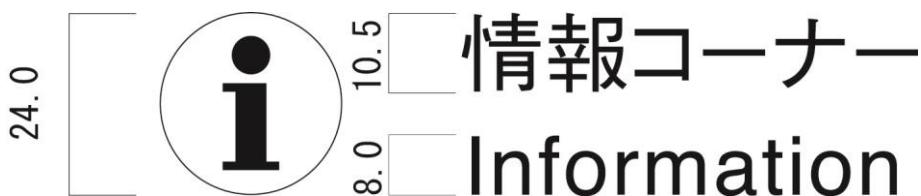
■表 地図標識の文字高の目安

	ピクトグラム	和文	英文	表示施設
凡例部表示	24.0mm	10.5mm	8.0mm	凡例部
特大サイズ	—	18.0mm	14.0mm	県名、市名、郡名、区名等（図中に境界があった場合）
大サイズ	21.0mm	9.0mm	7.0mm	案内所、情報コーナー、県庁、市役所、区役所、博物館、美術館、ホテル等
中サイズ	16.5mm	7.0mm	5.5mm	郵便局、交番、病院、デパート、ホテル、郵便局、交番、埠頭、踏切等 町名*、丁目*
中小サイズ	—	—	5.0mm	番地*
小サイズ	12.0mm	5.0mm	4.0mm	橋梁名、交差点名、歩道橋名、バス停名、広域図の情報

* 濃鼠色表示とする

『出典：地図を用いた道路案内標識ガイドブック 大成出版社』

○ [凡例部表示]



○ [特大サイズ]



○ [大サイズ]



○ [中サイズ]



○ [中小サイズ]



○ [小サイズ]



③ 言語・文字表記

地図標識に使用する言語は日本語に英語を併記することを基本とします。



『出典：地図を用いた道路案内標識ガイドブック 大成出版社』

④ 表示範囲及び縮尺

地図標識は概ね 1.0m四方の板に概ね 1.0km四方を表示するものを推奨します。
(縮尺概ね 1/1,000)

⑤ 色彩

■案内図の使用色

区分	施設名	色彩例	色(Pantone No.)及び仕様	(参考)CMYK値
緑地	森		Pantone : 376C 枠線 無し	→ 60-0-100-0
			Pantone : 390C 枠線 無し	→ 40-0-100-0
	公園・緑地		Pantone : 5865C 枠線 無し	→ 0-0-30-10
			Pantone : 292C 枠線 無し	→ 50-10-0-0
施設	水域 湖、池、河川		Pantone : 467C 枠線 無し	→ 10-20-40-0
			線幅 : 0.1mm	
			枠線 Pantone : Process Black	→ 0-0-0-100
	名称表記 一般施設		Pantone : Warm Gray 1C 枠線 無し	→ 0-0-0-10
			Pantone : Warm Gray 1C 枠線 線幅 : 0.2mm	→ 0-0-0-10
	駅舎 高架等		枠線 Pantone : Process Black	→ 0-0-0-100
			Pantone : Warm Gray 1C 枠線 線幅 : 0.2mm	→ 0-0-0-10
	歩道橋 ペデストリ アンデッキ		枠線 Pantone : Procces Black	→ 0-0-0-100
			Pantone : Warm Gray 1C 枠線 線幅 : 0.2mm	→ 0-0-0-10
道路	高速道路等		Pantone : Warm Gray 4C 枠線 Pantone : Procces Black	→ 30-30-30-0 → 0-0-0-100
			線幅 : 0.2mm	
			Pantone : Procces Black	→ 0-0-0-100
現在地	現在地表示		Pantone : Red 032 C 枠線 無し	→ 0-100-100-0
			白文字表示	
鉄軌道	鉄道軌道		Pantone : Cool Gray 9C 線幅 : 3.0mm	→ 0-0-0-65
	地下鉄軌道 (トンネル部)		Pantone : Cool Gray 9C 線幅 : 3.0mm 破線	→ 0-0-0-65
	バス路線		Pantone : Red 032 C 線幅 : 0.35mm	→ 0-100-100-0
境界線	区境界線		Pantone : Cool Gray 8C 線幅 : 2.0mm 一点鎖線	→ 0-0-0-55
	町境界線		Pantone : Cool Gray 8C 線幅 : 1.0mm 破線	→ 0-0-0-55
	丁目境界線		Pantone : Cool Gray 8C 線幅 : 1.0mm 点線	→ 0-0-0-55
パリアフ リー経路			Pantone : Red 032 C 線幅 : 3.0mm 点線	→ 0-100-100-0

■その他指定色

安全色青		100-60-10-0
安全色緑		100-20-70-0
安全色黄		0-20-90-0
横断歩道		0-0-0-40
住所等グレー文字		0-0-0-65
歩道橋階段		0-0-0-55

『出典：地図を用いた道路案内標識ガイドブック 大成出版社』

⑥ 地図の表示方角

主地図標識の向きは掲出する空間上の左右方向と、図上の左右方向を合わせて表示を行います。

- 地図標識の主要図の方角は、立っている空間の上向きと見ている図上の向きを合わせます。
- 広域図の方角は、主地図と向きを合わせます。
- 広域図のみの表示の場合は、基本的に北を上にします。
- 利用者が見ている方向がわかるように現在地の住所表示を行います。

⑦ 凡例部の表示

主要地図標識の右側に概ね縦 100 cm×横 25 cmの凡例等の表示域(凡例部)を設けます。

- 主地図及び広域図に表示したピクトグラム等を凡例に表示します。

⑧ その他

(ア) 方位及びスケール

方位及びスケールは主地図及び広域図それぞれに表示を行います。

主要地図の表示区域と表示区域外の関係が把握しにくい場合に、表示区域を含む広域図の作成を行い、概ね 2.0km 四方とし、縮尺は概ね 1/8,000 とします。

(イ) 管理者表示および整備時期の表示

案内サインには、管理者表示（整備年月入り）を行います。

6 記名サインの設置基準

(1) 配置位置

- ① 掲出にあたっては、照明の映り込みがないように配慮します。また、外光、照明の配置により見にくくならないよう配慮します。
- ② 動線と対面する向きのサイン2台を間近に掲出する場合、手前のサインで奥のサインを遮らないように設置します。

(2) 表示面の向き

サインの表示面は、動線と対面する向きに掲出します。

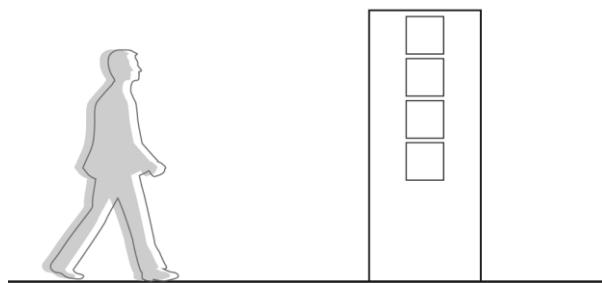
『出典：公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドライン 国土交通省』

(3) 掲出高さ

- ① 高さについては、誘導サインに準ずるものとする。ただし、設置する施設にふさわしいデザインや周辺景観との調和などを図る必要がある場合は、適宜適切な高さについて検討を行います。

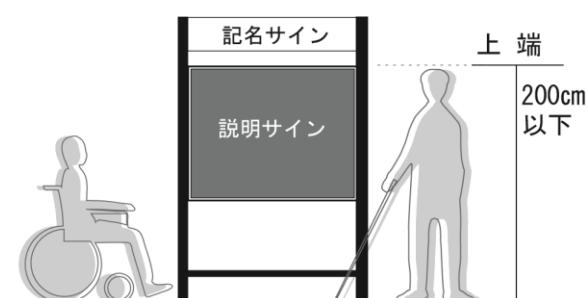
(ア) 路側型

【路側型】

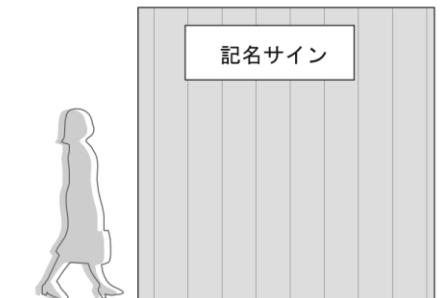


(イ) 壁掛け型・共架型（案内サインや説明サインとの組み合わせ等）

【共架型】



【壁掛け型】



『出典：地図を用いた道路案内標識ガイドブック 大成出版社』
『出典：ユニバーサルデザインによる みんなのための公園づくり 社団法人日本公園緑地協会』

(4) 表示内容

① 文字の大きさの選択の目安

- (ア) 文字の大きさは、視力の低下した高齢者等に配慮して視距離に応じた大きさを選択します。
- (イ) 掲示位置については、ロービジョン者等に配慮して、可能な限り、接近できる位置、点の高さに配置します。

※【ロービジョン】

視覚障がい者で全盲ではない弱視者（見えにくい人）です。

■表1 自動車利用者の対象の文字高

	設計速度		
	30 km/h 以下	40,50,60 km/h	70 km/h 以上
片側2車線以上	15 cm (20 cm)	30 cm (40 cm)	30 cm (45 cm)
片側1車線	10 cm (15 cm)	20 cm (30 cm)	30 cm —

() は交通量が多い場合

※表1は自動車ドライバーを対象としたサインに適用します。

・ローマ字の大きさ 大文字・・・漢字の大きさの1/2 小文字・・・大文字の3/4程度

『安全標識の文字の大きさ：道路技術基準・道路標識 国土交通省』

■表2 視距離別文字高の目安

視距離	和文文字高	英文文字高
30mの場合	120mm 以上	90mm 以上
20mの場合	80mm 以上	60mm 以上
10mの場合	40mm 以上	30mm 以上
4~5mの場合	20mm 以上	15mm 以上
1~2mの場合	9mm 以上	7mm 以上

※表2は歩行者を対象としたサインに適用します。

『出典：公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドライン 国土交通省』

② タイトル等文字の間隔

文字の間隔は、和文文字高を h とした時に下記の図の間隔で配置を行います。



『'95 道路標識ハンドブック 社団法人全国道路標識・表示業協会』

③ 自動車利用者対象の文字作成例 【正体 100%】

(縮尺: 1/10 単位: mm)

- [自動車利用者 片側1車線以上 交通量の多い道路、30 km/h 以下の場合]
 - ・和文字 150mm 以上



- [自動車利用者 片側2車線以上 交通量の多い道路、60 km/h 以下の場合]
 - ・和文字 400mm 以上



④ 歩行者対象の文字作成例 【正体 100%】

(縮尺: 1/5 単位: mm)

○ [歩行者 視距離 ~30mの場合] • 和文字 120mm 以上 英文字 90mm 以上

120 24
120
24
90 芽室町
Memuro Town

○ [歩行者 視距離 ~20mの場合] ・和文字 80mm 以上 英文字 60mm 以上

80 16
80
16
60
芽室町
Memuro Town

- [歩行者 視距離 ~10mの場合] • 和文字 40mm 以上 英文字 30mm 以上

40 8
芽室町
Memuro Town
300 8 40

- [歩行者 視距離 ~4・5mの場合]
 - ・和文字 20mm 以上 英文字 15mm 以上

- [歩行者 視距離 ~1・2mの場合]
 - ・和文字 9mm 以上 英文字 7mm 以上

204
茅室町
Memuro Town
4
1520

9 1.8
7 9 芽室町
Memuro Town

7 説明サインの設置基準

(1) 配置位置

- ① 空間上の制約から動線と平行な向きに掲出する場合は、延長方向から視認できる箇所に、その位置に案内サインがあることを示すサインを掲出することが望ましいです。
- ② 説明サイン掲示板に下部のスペースがある場合、視覚障害者の利用にも配慮し、白杖が当たる地面から 20 cm 程度の位置にバーが等を設けることが望ましいです。

※【白杖（はくじょう）】

視覚障がい者が歩行の際に前方の路面を触察して使用する白い杖です。

(2) 表示面の向き

- ① サインの表示面は、利用者の円滑な移動を妨げないよう配慮し、また、車椅子利用者が近づけるように十分なスペースをとり、動線と対面する向きに掲出することが望ましいです。

『出典：公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドライン 国土交通省』
『出典：ユニバーサルデザインによる みんなのための公園づくり 社団法人日本公園緑地協会』

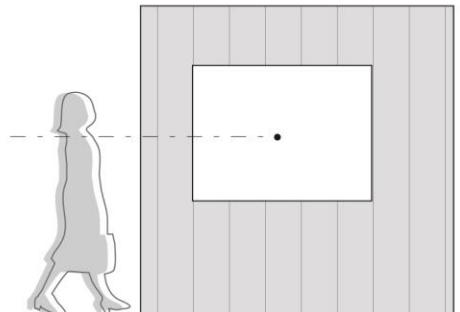
(3) 掲出高さ

- ① 掲示高さは、歩行者および車いす使用者が共通して見やすい高さとします。
- ② 歩行者が近づいて見ることのできるよう、地図標識付近に障害物等がないように配慮します。
- ③ 車いすの使用者からも無理なく読めるように、地図標識の中印の高さ 125 cm 程度とします。

【路側型】



【壁掛け型】



『出典：地図を用いた道路案内標識ガイドブック 大成出版社』
『出典：ユニバーサルデザインによる みんなのための公園づくり 社団法人日本公園緑地協会』

(4) 表示内容

① 文字の大きさの選択の目安

(ア) 文字の大きさは、視力の低下した高齢者等に配慮して視距離に応じた大きさを選択します。

(イ) 掲示位置については、ロービジョン者等に配慮して、可能な限り、接近できる位置、視点の高さに配置します。

※【ロービジョン】

視覚障がい者で全盲ではない弱視者（見えにくい人）です。

■表 視距離別文字高の目安

視距離	和文文字高	英文文字高
30mの場合	120mm 以上	90mm 以上
20mの場合	80mm 以上	60mm 以上
10mの場合	40mm 以上	30mm 以上
4~5mの場合	20mm 以上	15mm 以上
1~2mの場合	9mm 以上	7mm 以上

※表は歩行者を対象としたサインに適用する。

② 説明文の文字高

(ア) 地図標識の文字の大きさは、視距離 50cm を想定し、視距離 1~2m の文字高の約 1/2 の大きさ（和文文字高：5mm 以上、英文文字高：4mm 以上）とします。

(イ) 表示内容の見やすさに配慮し、表示施設により文字サイズを変えて表示します。

■表 説明文の文字高の目安

	ピクトグラム	和文	英文	表示内容
凡例部表示	24.0 mm	10.5mm	8.0mm	説明文 案内表示
特大サイズ	-	18.0mm	14.0mm	
大サイズ	21.0mm	9.0mm	7.0mm	
中サイズ	16.5mm	7.0mm	5.5mm	
中小サイズ	-	-	5.0mm	案内表示
小サイズ	12.0mm	5.0mm	4.0mm	

『出典：地図を用いた道路案内標識ガイドブック 大成出版社』

③ タイトル等文字の間隔

文字の間隔は、和文文字高を h とした時に、下記の図の間隔で配置します。



『'95 道路標識ハンドブック 社団法人全国道路標識・表示業協会』

④ 管理者表示および整備時期の表示

説明サインには、管理者表示（整備年月入り）を行います。

8 規制サインの設置基準

(1) 配置位置

- ① 掲出にあたっては、照明の映り込みがないように配慮する。また、外光、照明の配置により見にくくならないよう配慮します。
- ② 動線と対面する向きのサイン2台を間近に掲出する場合、手前のサインで奥のサインを遮らないように設置します。

(2) 表示面の向き

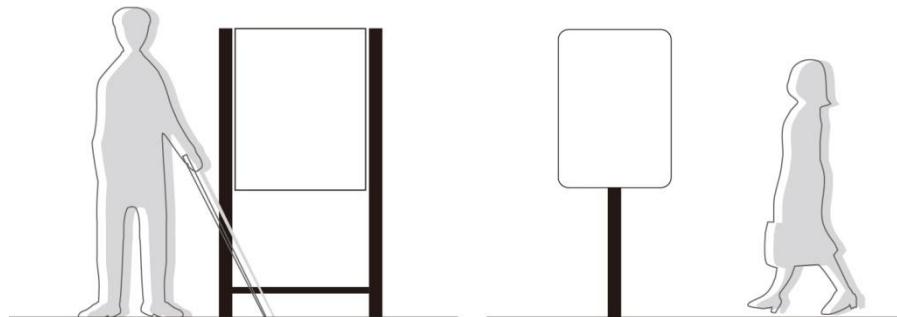
サインの表示面は、動線と対面する向きに掲出します。

『出典：公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドライン 国土交通省』

(3) 掲出高さ

高さについては、誘導サインに準ずるものとする。ただし、設置する施設にふさわしいデザインや周辺景観との調和などを図る必要がある場合は、適宜適切な高さについて検討を行います。

【路側型・ポール型】



(4) 表示内容

① 文字の大きさの選択の目安

- (ア) 文字の大きさは、視力の低下した高齢者等に配慮して視距離に応じた大きさを選択します。
- (イ) 掲示位置については、ロービジョン者等に配慮して、可能な限り、接近できる位置、視点の高さに配置します。

※【ロービジョン】

視覚障がい者で全盲ではない弱視者（見えにくい人）です。

■表1 自動車利用者の対象の文字高

	設計速度		
	30 km/h 以下	40,50,60 km/h	70 km/h 以上
片側2車線以上	15 cm (20 cm)	30 cm (40 cm)	30 cm (45 cm)
片側1車線	10 cm (15 cm)	20 cm (30 cm)	30 cm —

() は交通量が多い場合

※表1は自動車ドライバーを対象としたサインに適用します。

・ローマ字の大きさ 大文字・・・漢字の大きさの1/2 小文字・・・大文字の3/4程度

『安全標識の文字の大きさ：道路技術基準・道路標識 国土交通省』

■表2 視距離別文字高の目安

視距離	和文文字高	英文文字高
30mの場合	120mm 以上	90mm 以上
20mの場合	80mm 以上	60mm 以上
10mの場合	40mm 以上	30mm 以上
4~5mの場合	20mm 以上	15mm 以上
1~2mの場合	9mm 以上	7mm 以上

※表2は歩行者を対象としたサインに適用します。

『出典：公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドライン 国土交通省』

② タイトル等文字の間隔

文字の間隔は、和文文字高を h とした時に、下記の図の間隔で配置を行います。



『'95 道路標識ハンドブック 社団法人全国道路標識・表示業協会』

③ 自動車利用者対象の文字作成例 【正体 100%】

(縮尺: 1/10 単位: mm)

- [自動車利用者 片側1車線以上 交通量の多い道路、30 km/h 以下の場合]
 - ・和文字 150mm 以上



- [自動車利用者 片側2車線以上 交通量の多い道路、60 km/h 以下の場合]
 - ・和文字 400mm 以上



④ 歩行者対象の文字作成例 【正体 100%】

(縮尺: 1/5 単位: mm)

- [歩行者 視距離 ~30mの場合] • 和文字 120mm 以上 英文字 90mm 以上

- [歩行者 視距離 ~20mの場合] ・和文字 80mm 以上 英文字 60mm 以上

茅室町 Memuro Town

- [歩行者 視距離 $\sim 10m$ の場合] • 和文字 40mm 以上 英文字 30mm 以上

- [歩行者 視距離 ~4・5mの場合]
 - ・和文字 20mm 以上 英文字 15mm 以上

- [歩行者 視距離 ~1・2mの場合]
 - ・和文字 9mm 以上 英文字 7mm 以上

9 1.8
6
7
8
9
11.8

⑤ 管理者表示

必要に応じて管理者表示を行います。

9 配置計画

9-1 サインの種類と設置場所と表示内容

公共サインの設置は、目的に合ったサインを対象者が見やすく、適切な箇所に設置することが必要です。

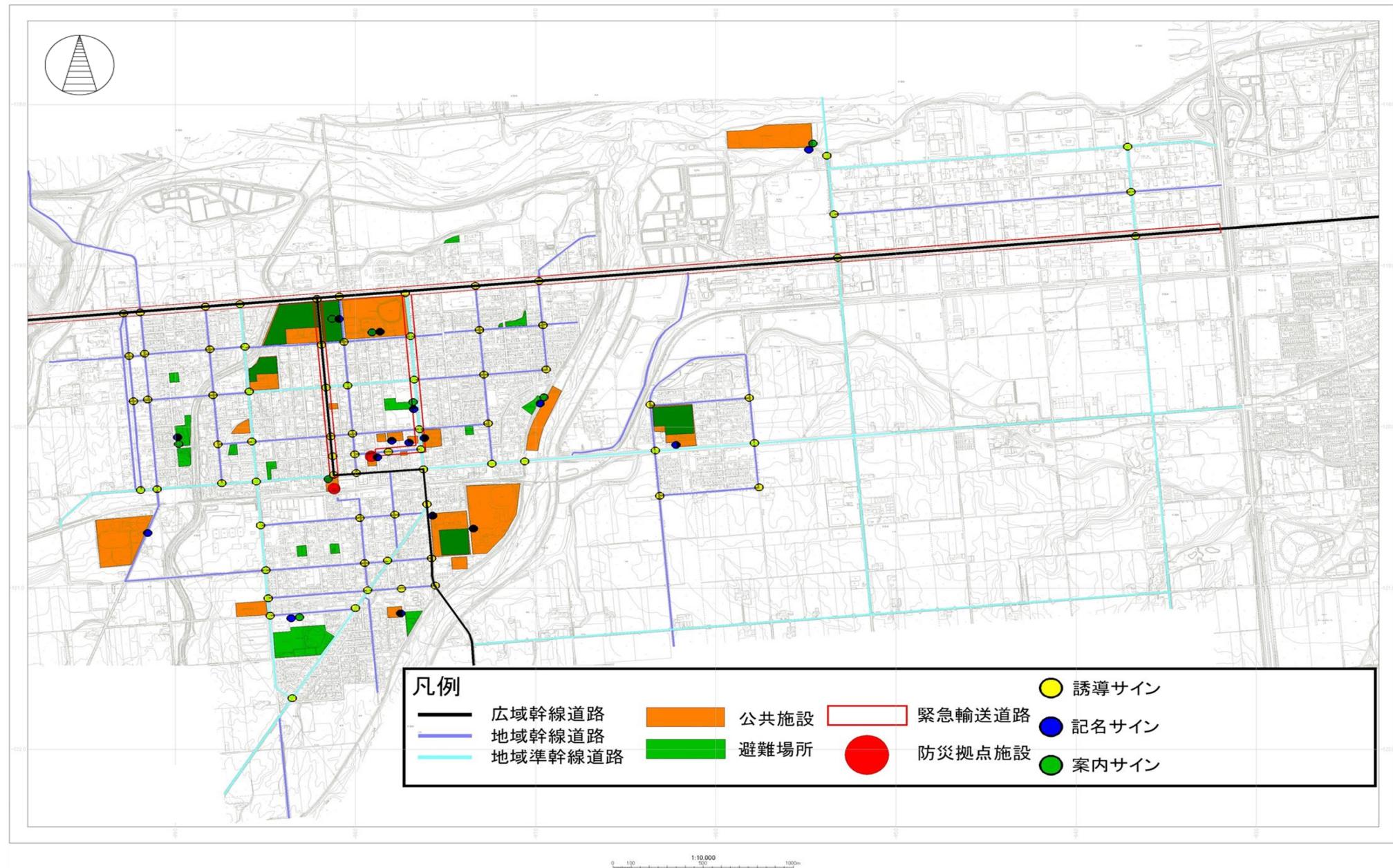
サインの種類に応じた設置場所と表示内容について、以下のとおり整理します。ただし、町で所管するその他のサインについては、所管課と協議の上、適切な位置に設置します。

種類		
1 誘導サイン	設置場所	対象者を目的地まで誘導する動線上に設置
	表示内容	所在地情報、公共施設名、観光施設名、災害時の避難所等の目的地に関する情報
2 案内サイン	設置場所	来町者や施設利用者に付近の全体状況を示したい場所に設置
	表示内容	所在地情報、路線名、公共施設名、観光施設名、公園等の付近全体の情報
3 記名サイン	設置場所	施設等の名称を示す場合に施設敷地内に設置
	表示内容	施設名情報
4 説明サイン	設置場所	対象物の内容や歴史、操作方法等を伝達する場合に対象物の付近に設置
	表示内容	対象物の説明や操作方法
5 規制サイン	設置場所	安全や秩序を保つため、歩行者の行動を促進したり、警告・禁止・規制をする場所に設置
	表示内容	警告、禁止、規制、注意喚起等の情報
6 その他サイン	設置場所	必要に応じて設置
	表示内容	

○誘導サインの設置場所

1 所在情報	内容	標示板設置場所の住所(条丁目)
	場所	本町における幹線道路及び〇〇本通、〇〇丁目通において設置
2 防災情報	内容	避難場所・施設への案内
	場所	災害時、瞬時に避難場所がわかるように設置
3 公共施設案内情報	内容	公共施設・公共駐車場への案内
	場所	町内の主要な公共施設を対象に、道路の分岐点または、迷いやすい分岐点において施設名とその方向を示すように設置
4 観光情報	内容	観光施設への案内
	場所	町内の主要な観光施設を対象に、道路の分岐点または、迷いやすい分岐点において施設名とその方向を示すように設置
5 その他情報	場所	必要に応じて設置

9-2 サインの配置図（案）



9-3 利用動線計画（案）

（1） JR芽室駅↔芽室町役場経路



凡例	○ 誘導サイン
— 広域幹線道路	○ 誘導サイン
— 地域幹線道路	● 記名サイン
— 地域準幹線道路	● 案内サイン

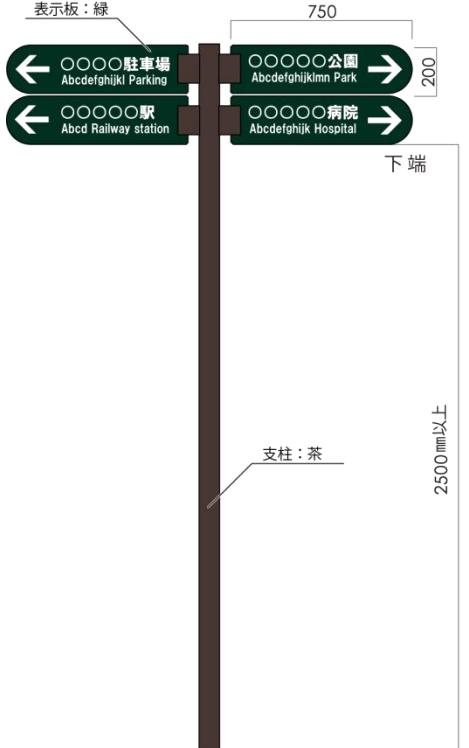
(2) 芽室町役場↔役場北側公共施設経路

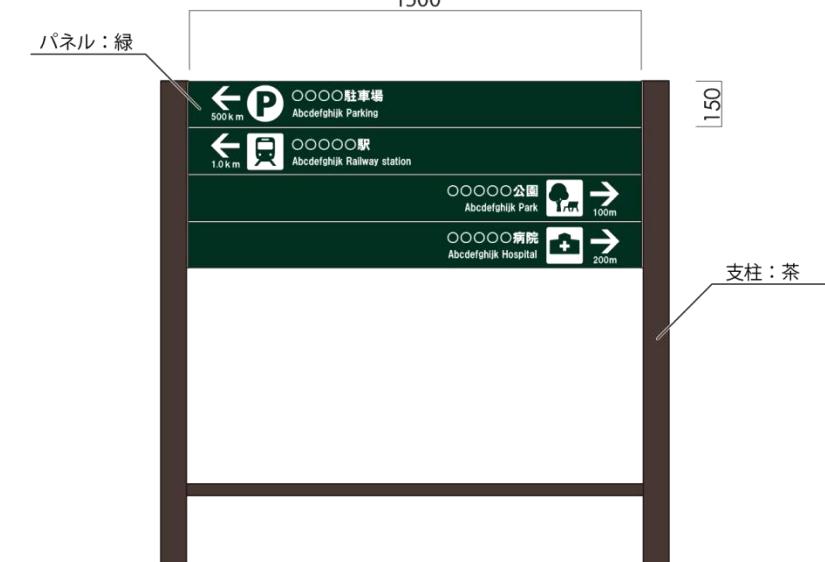


10 デザイン基準

前項の配置計画に基づき、新たに整備または改修する公共サインのデザイン基準を以下に示します。

10-1 誘導サイン

誘導サイン	【公共施設案内情報・観光情報】 矢羽型	
	歩道空間上部に張り出さなければ いけない場合	歩道に対して平行に設置する場合
デザイン例	 <p>表示文字 和文 60 mm、英文 45 mm角とした場合のモデル例</p>	 <p>表示文字 和文 60 mm、英文 45 mm角とした場合のモデル例</p>
イメージ 写真	 	
仕様	表示：インクジェット印刷（ホワイト） 表示板：アルミ板 合成樹脂焼付塗装 ダークブラウン（日塗工：B15-30B） ダークグリーン（日塗工：F49-20H） 支柱：アルミ押出形材 合成樹脂焼付塗装 ダークブラウン インナーパイプ：φ60.5 鋼管、亜鉛メッキ処理 表示板取付金物：アルミ押出形材 合成樹脂焼付塗装 ダークブラウン ※【日塗工】 一般社団法人日本塗装工業会発行の塗料用標準色です。	

誘導サイン	【公共施設案内情報・観光情報】 路側型 (歩行者の対象)
デザイン例	
イメージ写真	
仕様	<p>表示：インクジェット印刷（ホワイト）</p> <p>支柱：アルミ押出形材 合成樹皮塗装 ダークブラウン（日塗工：B15-30B）</p> <p>パネル：アルミ押出形材 合成樹皮塗装 ダークブラウン ダークグリーン（日塗工：F49-20H）</p> <p>※【日塗工】 一般社団法人日本塗装工業会発行の塗料用標準色です。</p>

誘導サイン	【公共施設案内情報・観光情報】 路側型 (自動車利用者対応)
デザイン例	
イメージ写真	
仕様	<p>表示：カプセルプリズム型高輝度反射シート（ホワイト） 支柱：アルミ押出形材 合成樹皮塗装 ダークブラウン（日塗工：B15-30B） 上パネル：アルミ押出形材、合成樹脂塗装 ダークグリーン （日塗工：F49-20H）</p> <p>表パネル：アルミ板、合成樹脂焼付塗装 ダークグリーン 裏パネル：アルミ板、合成樹脂焼付塗装 ダークグリーン</p> <p>※【日塗工】 一般社団法人日本塗装工業会発行の塗料用標準色です。</p>

誘導サイン	【防災情報】 ポール型・共架型
デザイン例	
イメージ写真	
仕様	<p>表示：インクジェット印刷 ダークグリーン (RGB 0,49,33) 赤 黒 (P16 ピクトグラム 色並びに使い方 参照)</p> <p>支柱 : $\phi 60.5$ アルミ押出形材、合成樹皮塗装 ダークブラウン (日塗工 : B15-30B)</p> <p>表示基板：アルミ複合板 ホワイト</p> <p>※【日塗工】 一般社団法人日本塗装工業会発行の塗料用標準色です。</p>

誘導サイン	【所在情報】 標示板（ポール型・共架型）
デザイン例	 <p>標示板：H660×W250 規格 在所情報デザイン例</p>
イメージ写真	 
仕様	<p>表示：インクジェット印刷（ホワイト）</p> <p>表示板：アルミ板 合成樹脂焼付塗装 ダークブラウン（日塗工：B15-30B）</p> <p>アルミ板 合成樹脂焼付塗装 ダークグリーン（日塗工：F49-20H）</p> <p>※【日塗工】</p> <p>一般社団法人日本塗装工業会発行の塗料用標準色です。</p>

10-2 案内サイン

案内サイン	路側型（共架型）
デザイン例	<p>表示面規格 1200×1500 (地域案内図 1000×1000、凡例部 1000×250) とした場合の例</p>
イメージ写真	
仕様	<p>支柱：アルミ押出形材、合成樹脂塗装 ダークブラウン（日塗工：B15-30B） 上パネル：アルミ押出形材、合成樹脂塗装 ダークブラウン 表パネル：アルミ板、合成樹脂焼付塗装 ダークグリーン （日塗工：F49-20H） 裏パネル：アルミ板、合成樹脂焼付塗装 ダークブラウン</p> <p>※表示面の仕様については、耐久性・耐候性・経済性を検討した上で決定します （板面の更新等維持管理面を考慮し、インクジェット印刷タイプとします）。</p> <p>※【日塗工】 一般社団法人日本塗装工業会発行の塗料用標準色です。</p>

10-3 記名サイン

記名サイン	路側型
デザイン例	
イメージ写真	
仕様	<p>表示：インクジェット印刷（ホワイト）</p> <p>支柱：アルミ押出形材、合成樹脂塗装 ダークブラウン（日塗工：B15-30B）</p> <p>表パネル：アルミ板、合成樹脂焼付塗装 ダークブラウン ダークグリーン（日塗工：F49-20H）</p> <p>裏パネル：アルミ板、合成樹脂焼付塗装 ダークブラウン</p> <p>※【日塗工】 一般社団法人日本塗装工業会発行の塗料用標準色です。</p>

10-4 説明サイン

説明サイン	路側型（共架型）公園案内説明サイン
デザイン例	 <p>記名サイン（共架型）</p> <p>1800</p> <p>150</p> <p>1200</p> <p>2000mm以下</p>
イメージ写真	
仕様	<p>支柱：アルミ押出形材、合成樹脂塗装 ダークブラウン（日塗工：B15-30B） 上パネル：アルミ押出形材、合成樹脂塗装 ダークブラウン 表パネル：アルミ板、合成樹脂焼付塗装 ダークグリーン （日塗工：F49-20H） 裏パネル：アルミ板、合成樹脂焼付塗装 ダークブラウン</p> <p>※表示面の仕様については、耐久性・耐候性・経済性を検討した上で決定します （板面の更新頻度が少ないため、高硬度・高耐久性のタイプとします）。</p> <p>※【日塗工】 一般社団法人日本塗装工業会発行の塗料用標準色です。</p>

10-5 規制サイン

規制サイン	路側型
デザイン例	
イメージ写真	
仕様	<p>表示 : P17～ ピクトグラムの表記 参照</p> <p>支柱 : アルミ押出形材、合成樹脂塗装 ダークブラウン (日塗工 : B15-30B)</p> <p>表パネル : アルミ板、合成樹脂焼付塗装 ホワイト</p> <p>裏パネル : アルミ板、合成樹脂焼付塗装 ダークブラウン (日塗工 : B15-30B)</p> <p>※表示面の仕様については、耐久性・耐候性・経済性を検討した上で決定します (板面の更新等維持管理面を考慮し、インクジェット印刷タイプとします)。</p> <p>※【日塗工】 一般社団法人日本塗装工業会発行の塗料用標準色です。</p>

11 参考資料

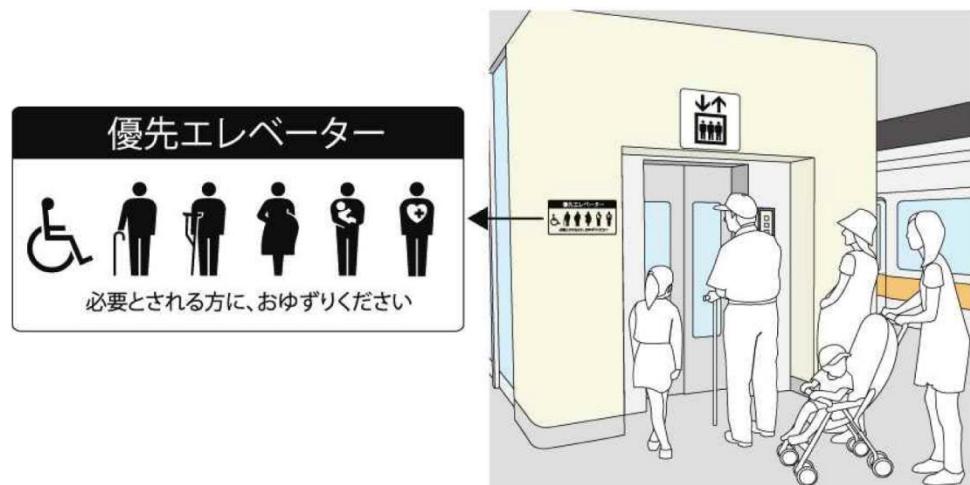
11-1 ピクトグラムの使用例

●国際標準化機構（ISO）での標準化（2013年6月）を踏まえ、JIS化が予定されている優先設備のピクトグラム

- ・ピクトグラムは、杖をついた人、障害のある人・けが人、妊産婦、乳幼児連れ、内部障害者の5つ。



●エレベーターでの使用例



11-2 言語表記の使用例

○地域ごとの来訪者事情により、日本語、英語以外の言語を併記することが望ましいです。

○英語を併記する場合、英訳できない固有名詞にはヘボン式ローマ字つづりを使用します。

○固有名詞のみによる英文表示には、ローマ字つづりの後に～Bridge や～River など、意味が伝わる英語を補足することが望ましいです。

日本語音					ヘボン式ローマ字つづり				
あ	い	う	え	お	a	i	u	e	o
か	き	く	け	こ	ka	ki	ku	ke	ko
さ	し	す	せ	そ	sa	shi	su	se	so
た	ち	つ	て	と	ta	chi	tsu	te	to
な	に	ぬ	ね	の	na	ni	nu	ne	no
は	ひ	ふ	へ	ほ	ha	hi	fu	he	ho
ま	み	む	め	も	ma	mi	mu	me	mo
や	ー	ゆ	ー	よ	ya	ー	yu	ー	yo
ら	り	る	れ	ろ	ra	ri	ru	re	ro
わ	ー	ー	ー	ー	wa	ー	ー	ー	ー
ん					n				
が	ぎ	ぐ	げ	ご	ga	gi	gu	ge	go
ざ	じ	ず	ぜ	ぞ	za	ji	zu	ze	zo
だ	ぢ	づ	で	ど	da	ji	zu	de	do
ば	び	ぶ	べ	ぼ	ba	bi	bu	be	bo
ぱ	ぴ	ぶ	ペ	ぼ	pa	pi	pu	pe	po
きや	きゅ		きょ		kyा		kyu		kyo
しや	しゅ		しょ		sha		shu		sho
ちや	ちゅ		ちょ		cha		chu		cho
にや	にゅ		によ		nya		nyu		nyo
ひや	ひゅ		ひょ		hya		hyu		hyo
みや	みゅ		みょ		mya		myu		myo
りや	りゅ		りょ		rya		ryu		ryo
ぎや	ぎゅ		ぎょ		gya		gyu		gyo
じや	じゅ		じょ		ja		ju		jo
ぢや	ぢゅ		ぢょ		ja		ju		jo
びや	びゅ		びょ		bya		byu		byo
ぴや	ぴゅ		ぴょ		pya		pyu		pyo

『出典：公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドライン 国土交通省』

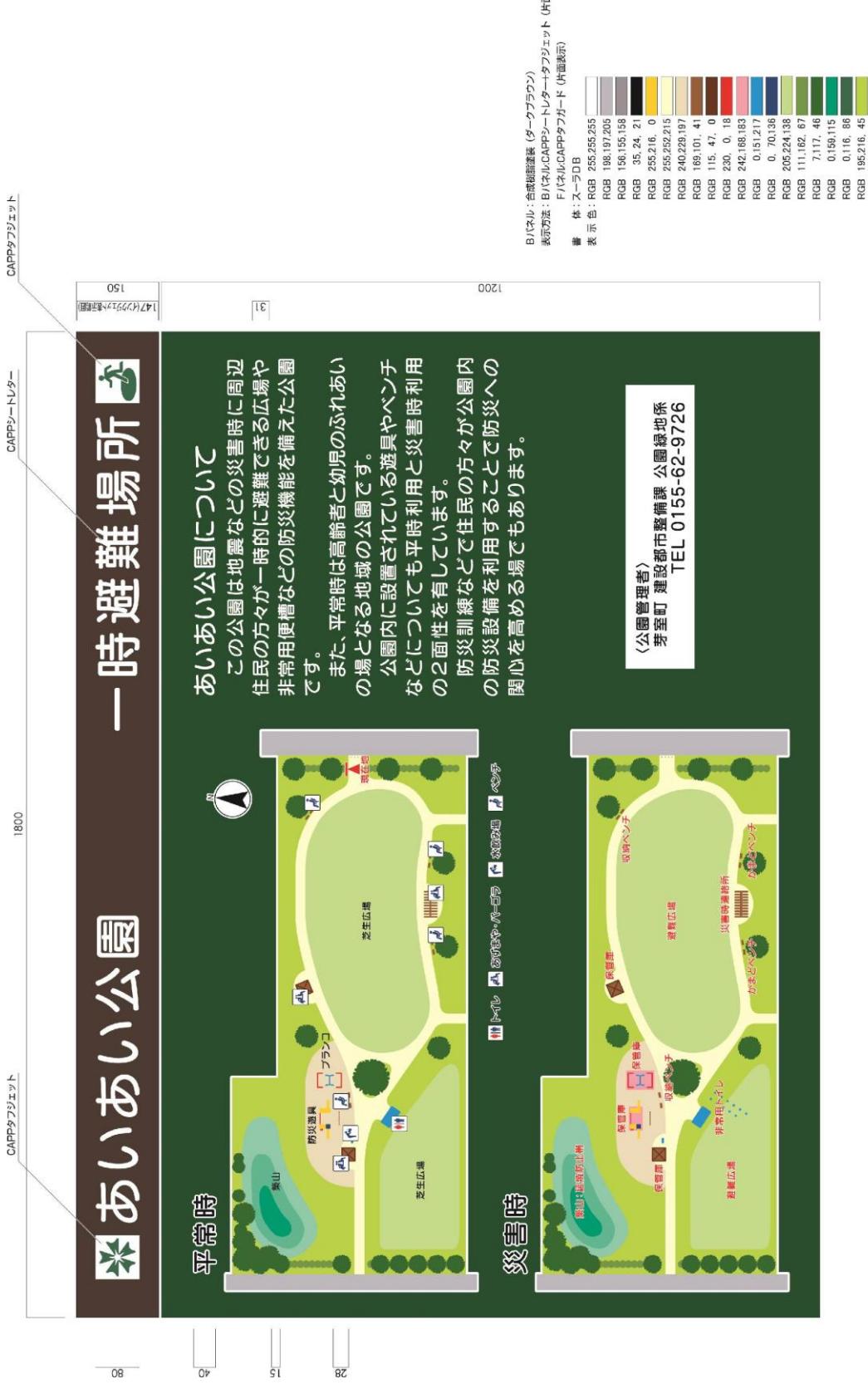
1. はねる音「ン」は n で表わすが、ただし m、b、p の前では m を用います。
2. はねる音を表わす n と次にくる母音字または y とを切り離す必要がある場合には、n の次に「-」(ハイフン)を入れます。
3. つまる音は、次にくる最初の子音字を重ねて表わすが、ただし次に ch がつづく場合には c を重ねずに t を用います。
4. 長音は母音字の上に「ー」(長音符標)をつけて表わす。大文字の場合は母音字を並べてもよいです。(注)
5. 特殊音の書き表し方は自由とします。
6. 文の書きはじめ及び固有名詞は語頭を大文字で書く。なお、固有名詞以外の名詞の語頭を大文字で書いてもよいです。
注：長音符は日本独自のもので、国際化されていないため、外国人に理解されない可能性があります。長音符の使用は事業者や自治体等で対応が異なる、もしくは使用しない場合があるため表示にあたっては確認が必要です。

11-3 道路の案内標識の英語による表示に関する告示

施設等	英語
鉄道駅又は軌道駅	Station
自動車駐輪場	Parking
トンネル	Tunnel
橋	Bridge
通り	Avenue/Street/Boulevard
温泉	Onsen
公園	Park
町役場	Town Office
郵便局	Post Office
病院	Hospital
小学校	Elementary School
中学校	Junior High School
高等学校	High School
大学	University/College/Institute
体育館	Gymnasium
山岳	Mountain
河川	River

『出典：道路の案内標識の英語による表示に関する告示 国土交通省』

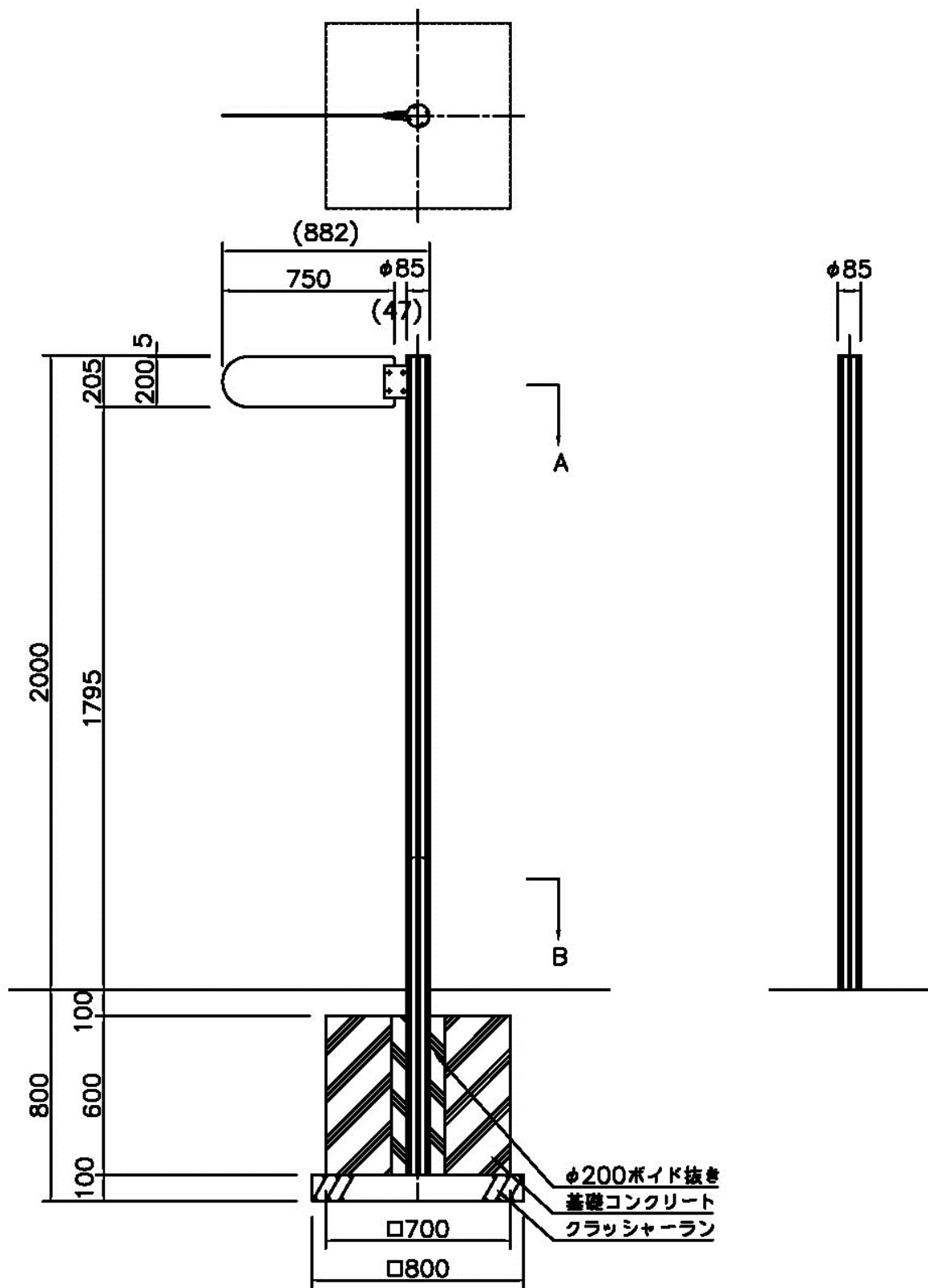
11-4 説明サイン表示面参考図



※サイン印刷の文字・色は、実際の印刷と若干の差がありますのでご注然下さい。
※色は設置場所の照明光によって、指定色とは若干異なって見える場合があります。

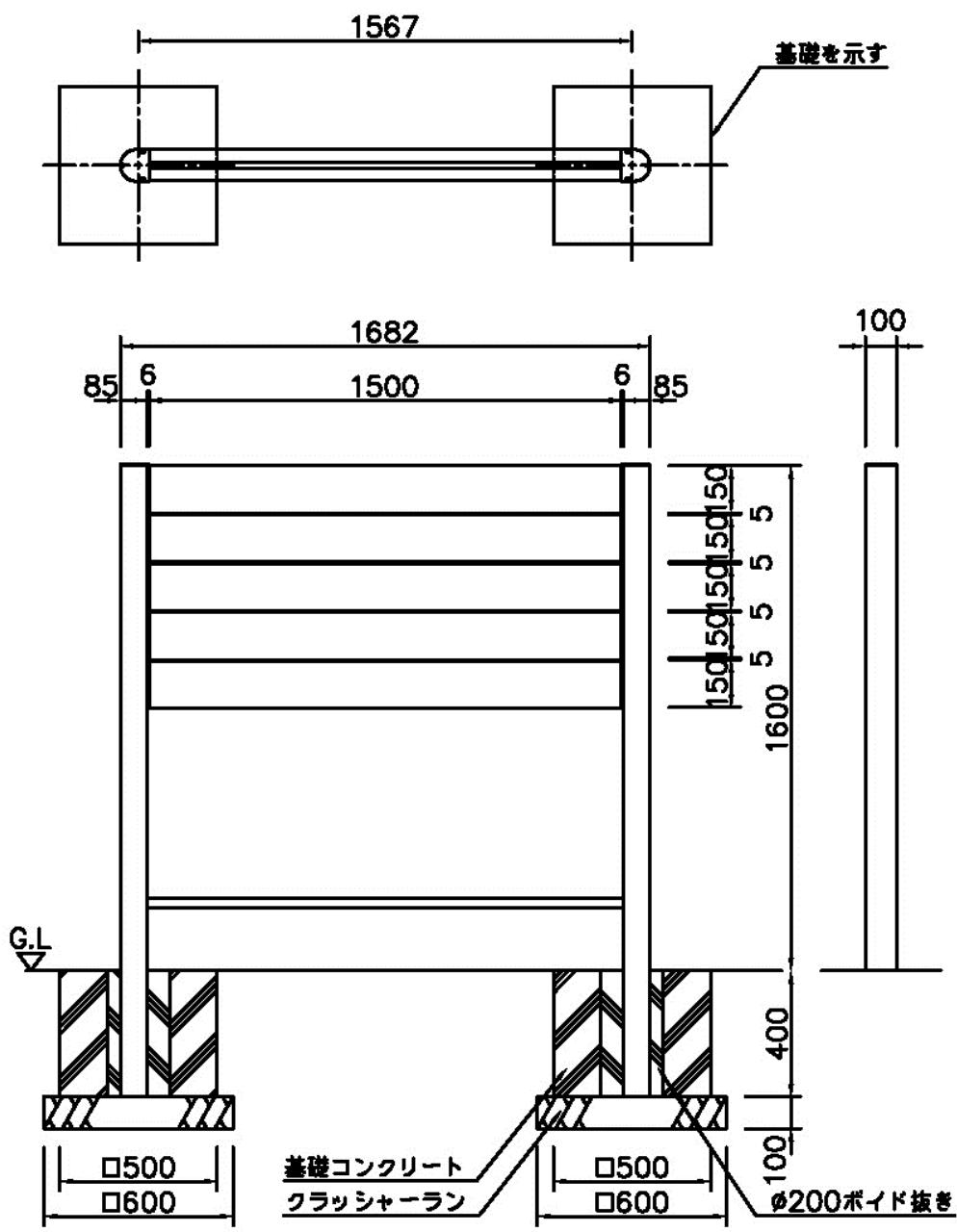
11-5 参考図

誘導サイン 矢羽型
概算費 230,000 円 (矢羽1枚 59,000 円)



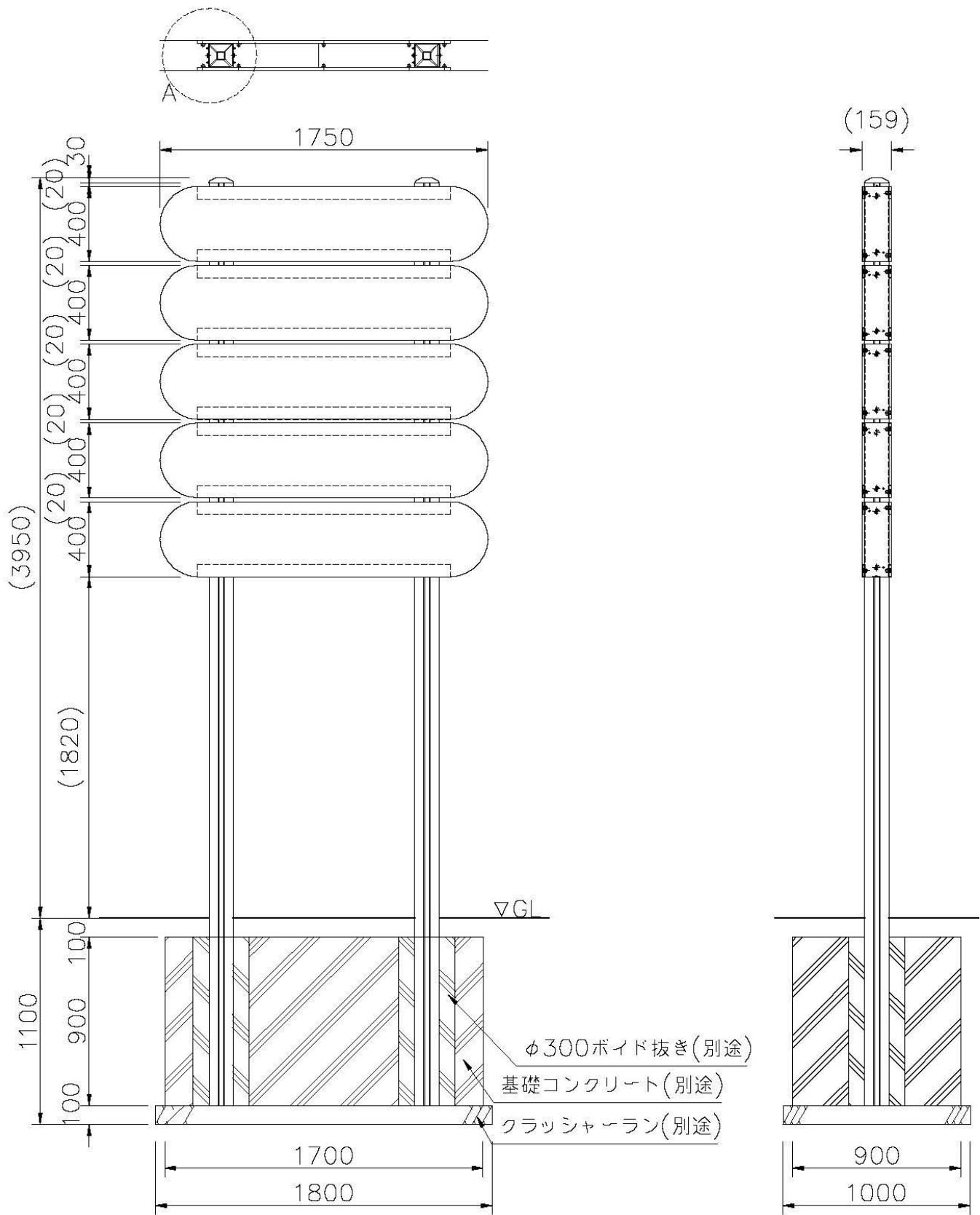
誘導サイン 路側型

概算費 510,000 円 (パネル 47,000 円×5 枚)

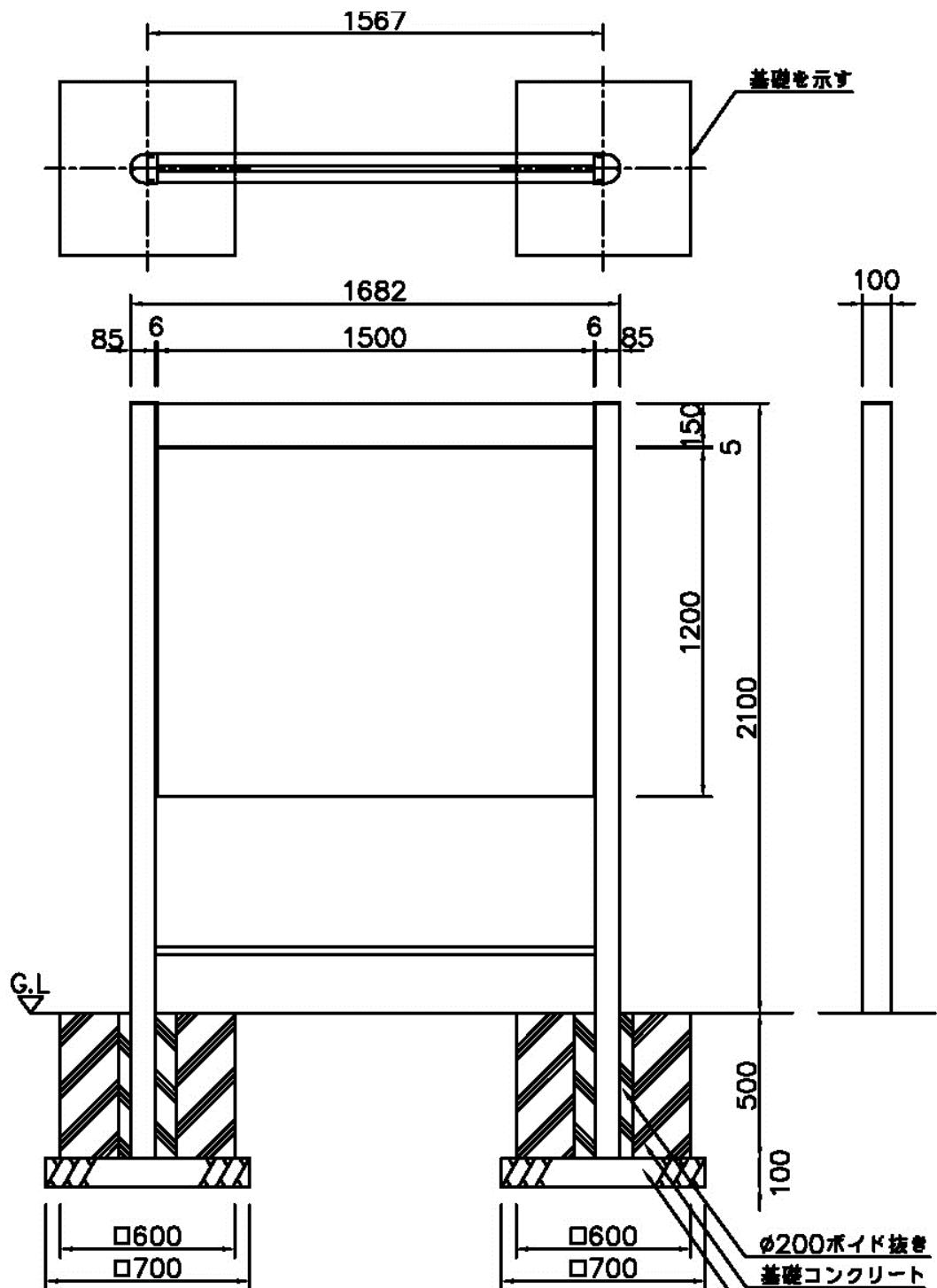


外觀圖

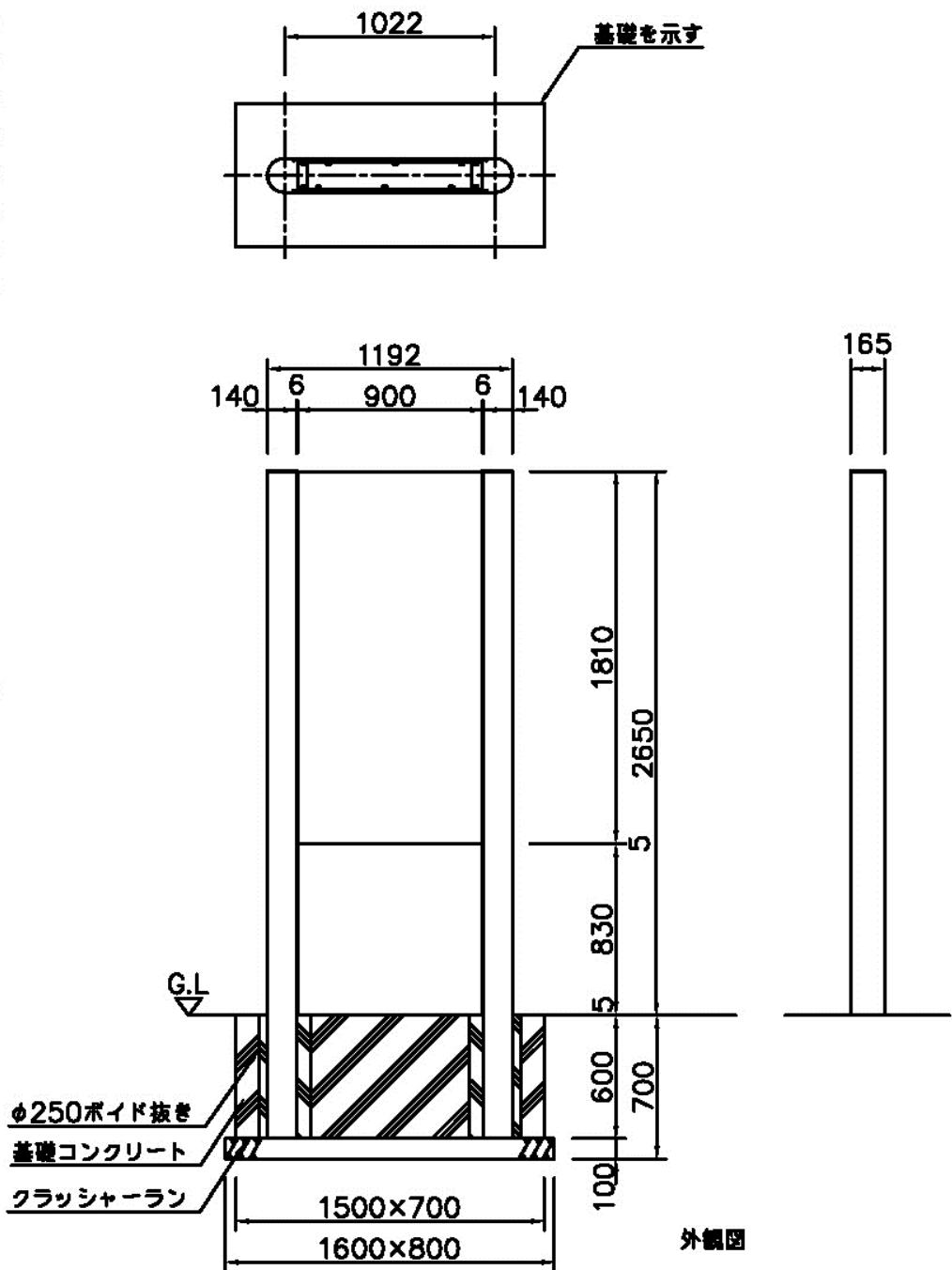
誘導サイン 路側型 自動車利用者対応
概算費 3,900,000 円



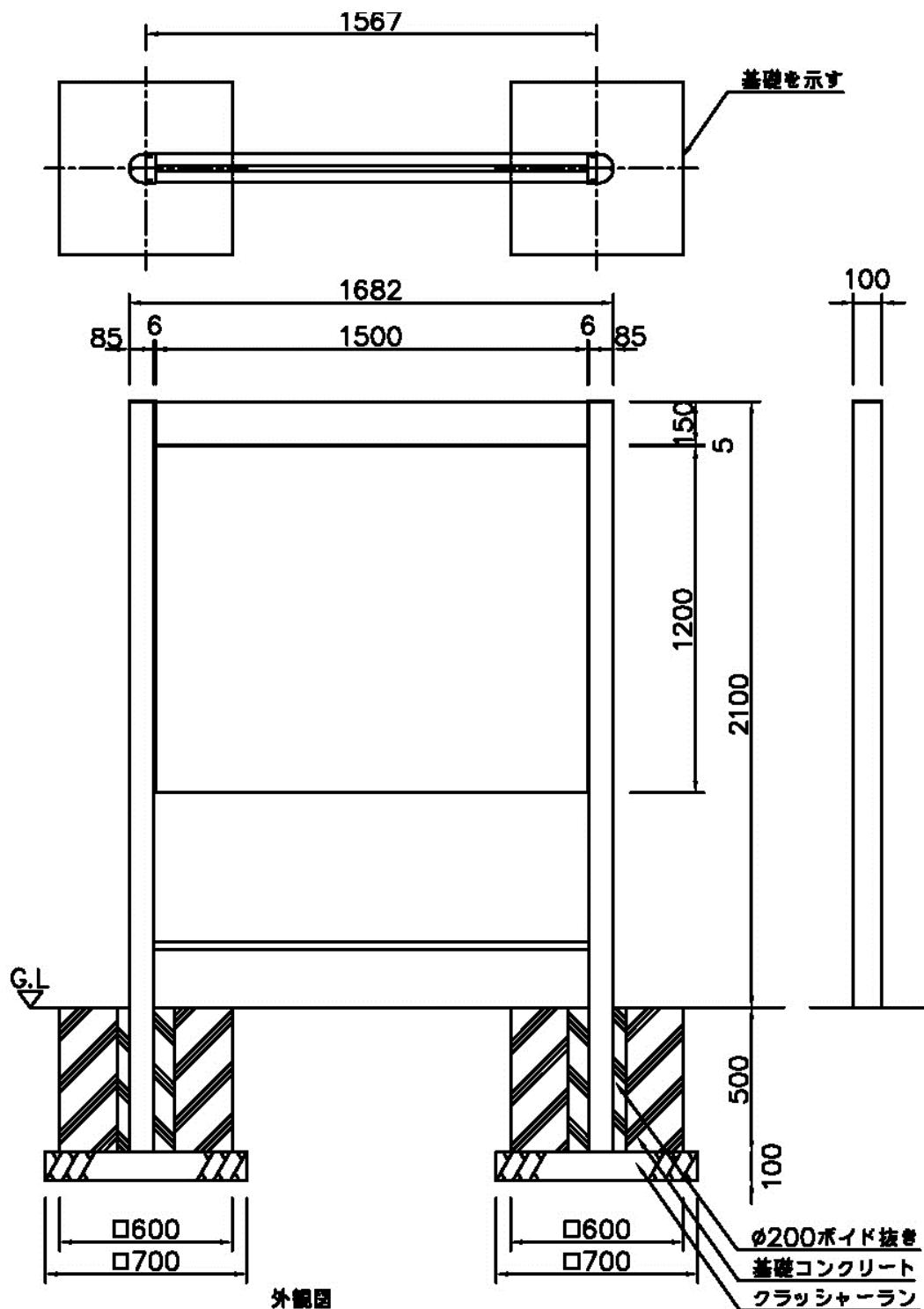
案内サイン 路側型
概算費 900,000 円



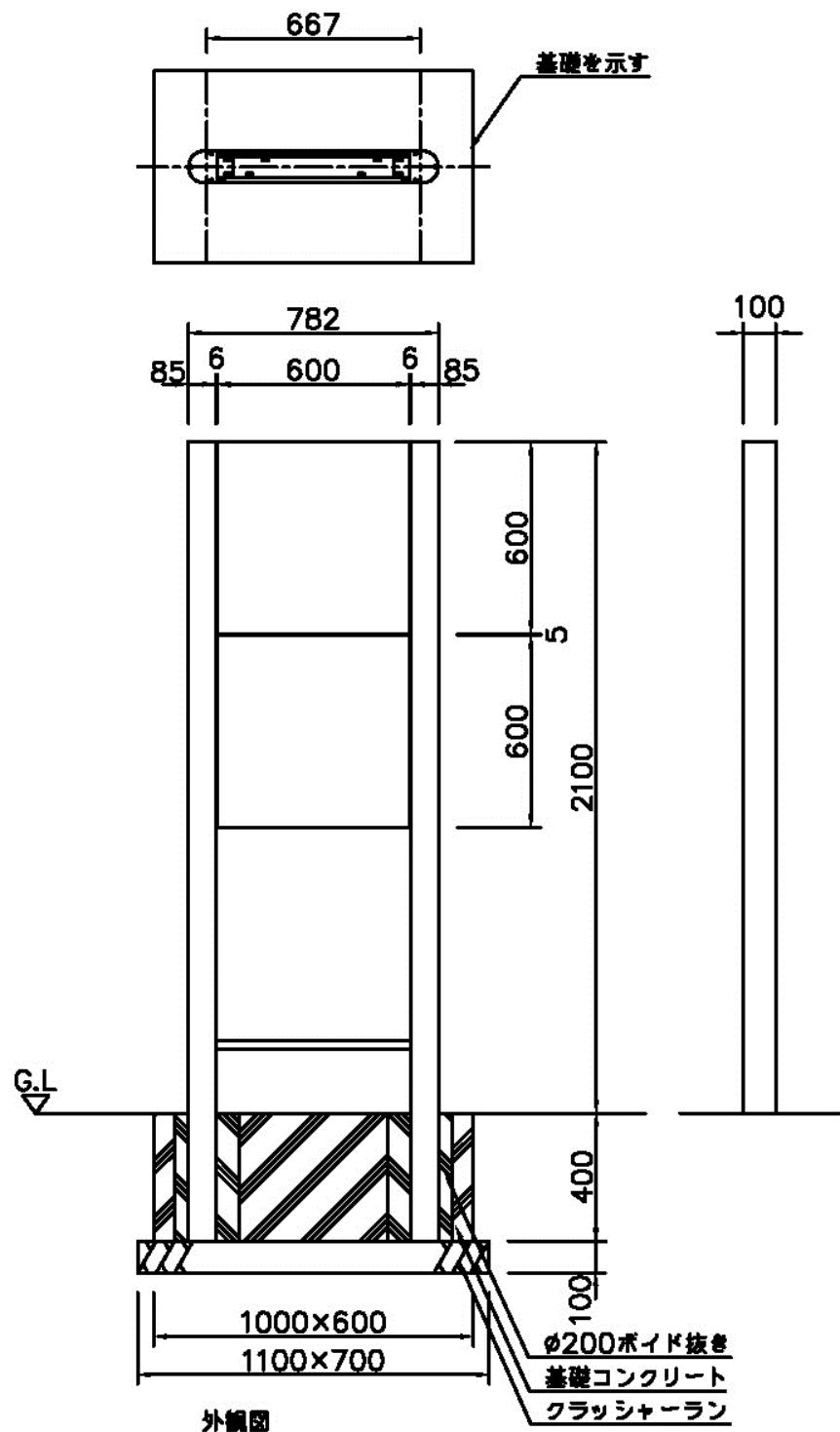
記名サイン 路側型
概算費 600,000 円



説明サイン 路側型
概算費 1,000,000 円



規制サイン 路側型
概算費 500,000 円



12 資料

(1) 芽室町公共サイン整備計画検討会議開催状況

年 月 日	開催状況
平成26年10月14日	第1回芽室町公共サイン整備計画検討会議
平成27年 7月 7日	第2回芽室町公共サイン整備計画検討会議
平成27年 9月 4日	第3回芽室町公共サイン整備計画検討会議
平成27年10月13日	第4回芽室町公共サイン整備計画検討会議

(2) 芽室町公共サイン整備計画検討会議委員名簿

課	係	備考
総務課	契約管財係長	公共施設
	地域安全係長	防災
企画財政課	企画調整係長	公共交通（コミバス等）
住民生活課	生活環境係長	環境・ごみ等啓発
保健福祉課	障がい福祉係長	高齢者・障がい者視点のサイン
商工観光課	観光物産係長	イベント、観光サイン
建設都市整備課	建築係長	デザイン、建築基準
	公園緑地係長	公園誘導、公園内サイン
	管理係長	屋外広告物、道路
	建設係長	道路案内標示

(3) 町民参加手続き（原案に対する意見の募集）

まちづくり意見募集（パブリックコメント）手続きの状況

- ・実施時期 平成27年11月27日（金）～平成27年12月28日（月）
- ・計画原案（概要版）の配布枚数 50枚
- ・意見書の提出 0件

(4) 今後の整備等について

- ① 幹線道路に住所（条丁目）標示板の設置及び幹線道路から各施設に誘導するサインを優先に整備を進めます。
- ② 優先に整備する「誘導サイン」の年次計画を作成します。
- ③ 町の政策的宣言看板等について整備を進めます。
- ④ 駐車施設の「障がい者用駐車スペース」の表示マーク（ピクトグラム）に利用者を明確にする説明文を加えるサインについて整備を進めます。



芽室町公共サイン整備計画
平成 27 年 12 月